
DMT-DD v2.14.4.23

取扱説明書

株式会社ディ・エム・シー

この取扱説明書で提供するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することが出来ます。

著作権

Copyright © 2021MC Co., Ltd

商標

Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の米国に於ける登録商標または商標です。

—目次—

1. 構成及び概要.....	3
1.1. 構成.....	3
1.2. 概要.....	3
1.3. 注意事項.....	3
2. システム要件.....	4
2.1. システム構成.....	4
2.2. インストール要件.....	4
2.3. 対象タッチパネルコントローラ.....	5
2.4. 備考.....	5
3. インストール.....	6
4. アンインストール.....	11
5. タッチパネルドライバ設定ツールの起動.....	13
6. タッチパネルドライバの設定手順.....	14
6.1. タッチパネルドライバの動作までの流れ.....	14
7. デバイスの追加.....	16
7.1. タッチパネルデバイス一覧.....	16
7.2. インストール.....	18
7.3. アンインストール.....	23
7.4. COMポート検索無効.....	25
8. 基本設定.....	26
8.1. ソフトウェア設定.....	27
8.2. タッチ入力設定.....	32
8.3. 端面設定.....	34
8.4. タッチ音.....	35
8.5. 右クリック設定.....	39
8.6. ハードウェア設定.....	40
8.7. ハードウェア情報.....	44
8.8. 設定ファイル.....	45
9. モニタ設定.....	47
10. タッチ設定.....	50
10.1. タッチパネルの構成.....	52
11. マウス設定.....	53
12. 設定ツール.....	54

1. 構成及び概要

1.1. 構成

DMT-DD は以下より構成されます。

- ・ 設定ツール本体
- ・ 設定ファイル
- ・ ドライバー

1.2. 概要

システム概要

DMT-DD ではタッチパネルを動作させるために必要となる以下の機能を提供しています。

- ・ タッチパネルドライバのインストール/アンインストール
- ・ タッチパネルドライバの設定
- ・ タッチパネルドライバの監視

設定は全て本ツールで行います。

1.3. 注意事項

- (1) 本ソフトウェアは、本書に記載されている弊社製のタッチパネルコントローラ以外は動作対象外となります。
- (2) 本ソフトウェアの使用方法は、本書に従った方法で行ってください。異なる使用方法では動作しない場合があります。
- (3) 本ソフトウェアは対応機種として明記された機種、OS 以外では動作対象外となります。ただし、明記された機種、OS に関しても全てのシステム環境において動作保証するものではありません。
- (4) 他のマウスエミュレーションソフトウェア或いは類似の機能を提供するソフトウェアがインストールされた環境では使用しないで下さい。正常に動作しない場合があります。
- (5) 本ソフトウェア以前のバージョンがすでにインストールされている場合は、必ずそのソフトウェアのアンインストールを行い、再起動後に本ソフトウェアをインストールしてください。上書きインストールでは正常に動作しない場合があります。
- (6) 弊社では本ソフトウェアに起因するいかなるトラブルに関しても一切の責任を負いかねます。従いまして、本ソフトウェアを導入する前にシステムのバックアップをお取りください。

2. システム要件

2.1. システム構成

(1) OS

Windows XP / 7 / 8 / 8.1 / 10 の 32bit および 64bit の Home 以上の Edition

(注意) Windows 8/8.1/10 のシステムビルダーバージョンは対象外となります。

Windows 10 とそれ以外の OS では、インストーラが異なりますので、ご注意ください。

(2) 接続インターフェース

USB / シリアル

(3) モニタ

マルチディスプレイ対応

(注意) TSC コントローラをマルチディスプレイで使用する場合は、Windows 7 以上である必要があります。

2.2. インストール要件

(1) ソフトウェア

OS	必要ソフトウェア
Windows XP / 7 / 8 / 8.1	Microsoft .Net Framework 3.5
Windows 10	Microsoft .Net Framework 4.6

(2) ハードディスク

システムドライブに 10MB 程度の空き容量 + データファイル保存容量
またインストール先は下記となります。

32bit の場合: システムドライブ ¥ Program Files ¥ DMT-DD

64bit の場合: システムドライブ ¥ Program Files(x86) ¥ DMT-DD

(3) 署名アルゴリズム

Windows 7 以降の OS では、SHA-2 署名アルゴリズムに対応している必要があります。

対応していない場合、Windows Update が必要になります。

(詳細情報)

Windows 7 64bit の場合、「KB3033929」をインストールしてください。

2.3. 対象タッチパネルコントローラ

DMT-DD は下記のコントローラを対象としております。

コントローラ	VID/PID	接続方法
DUS シリーズ (FW-Ver7)	0x0AFA/0x07D2	USB /シリアル
DUS シリーズ (FW-Ver8)	0x0AFA/0x07D3	
DUSx100 シリーズ	0x0AFA/0x07D5	
DUSx200 シリーズ	0x0AFA/0x07D7	
MTR1000 シリーズ	0x0AFA/0x03EC 0x0AFA/0x03ED 0x0AFA/0x03EE 0x0AFA/0x03EF	
MTR2000 シリーズ	0x0AFA/0x03F1	
TSC-50 シリーズ※1	0x0AFA/0x03E8	
TSC-52 シリーズ	0x0AFA / 0x03F2	

それぞれのコントローラに関する詳細は、お問い合わせ頂くか弊社ウェブサイトを参照ください。

<http://www.dmccoltd.com/>

※1: TSC-50 シリーズは、USB 接続時、ベンダー定義のデバイスとして認識されます。TSC-50 以外のコントローラは、HID 準拠のデバイスとして認識されます。

2.4. 備考

- (1) Windows7 での使用の場合かつマルチモニタ上でタッチ入力を行う場合はグラフィックドライバーが DirectX9 対応及び WDDM1.0 以上である必要があります。
- (2) WindowsXP での使用の場合はシングルタッチのマウス入力となります。
- (3) Windows8/8.1/10 での使用の場合、システムプロパティには「タッチ(制限あり)のサポート」と表示される場合があります。
- (4) Windows10 のユニバーサルアプリでマルチタッチが反応しない場合、タッチ形式をハイブリッドモードに設定すると、改善する場合があります。

3. インストール

※インストール前にタッチパネルコントローラの USB ケーブルを接続しないでください。

「DMT-DDSetup.msi」もしくは「DMT-DDSetup_ms.msi」をダブルクリックして下さい。

※インストールする OS により、実行するファイルが異なります。

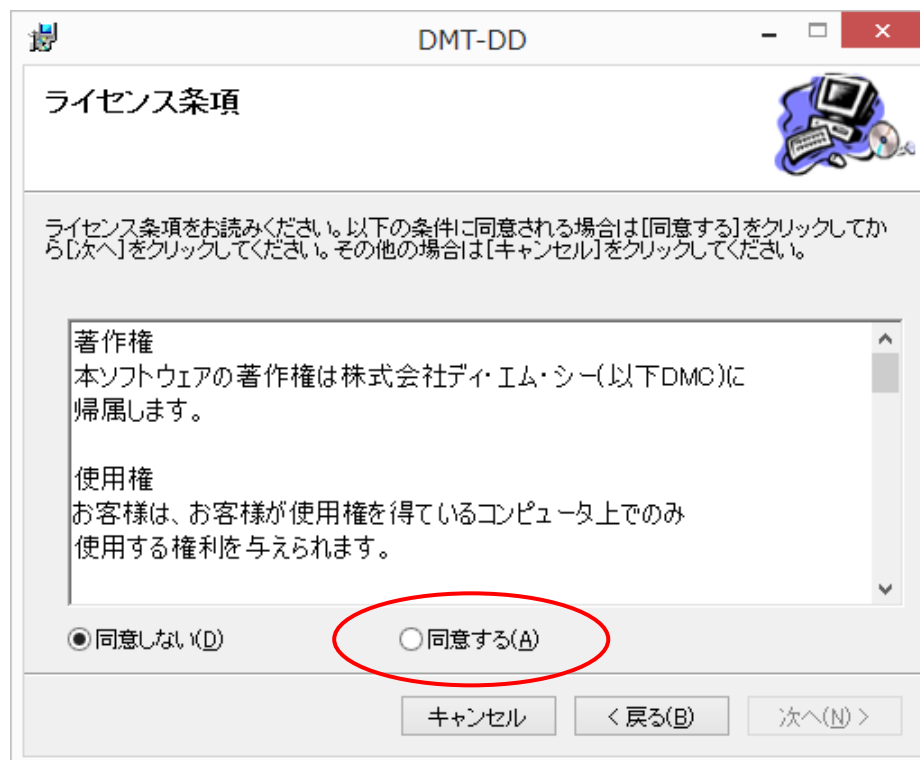
WindowsXP/7/8/8.1 の場合、「DMT-DDSetup.msi」をダブルクリック。

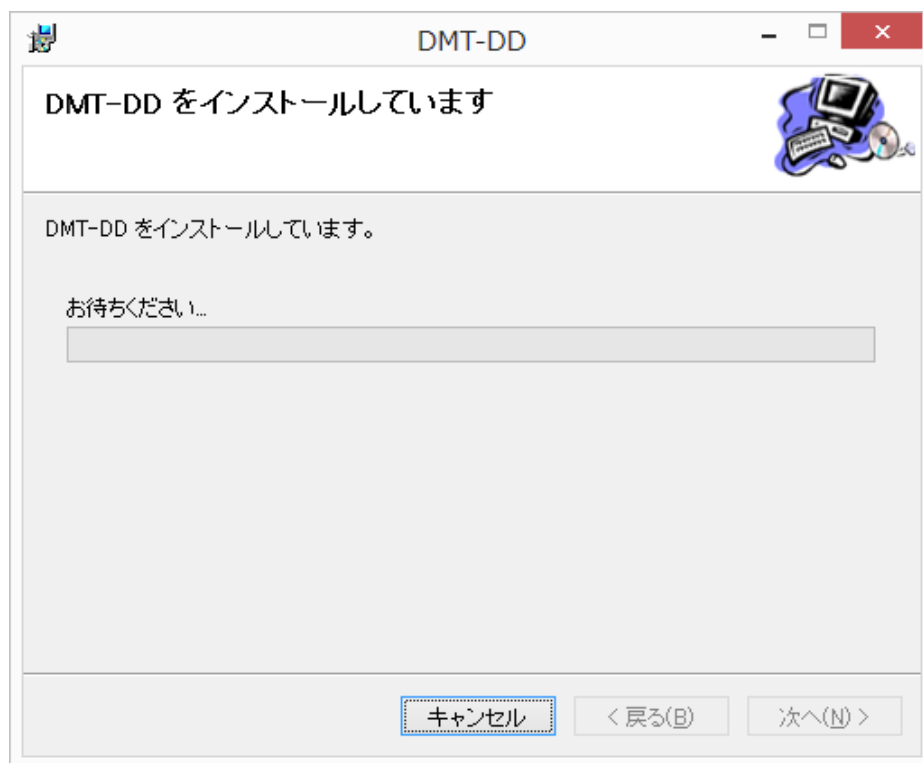
Windows10 の場合、「DMT-DDSetup_ms.msi」をダブルクリック。

セットアップウィザードが開始するので、「次へ」をクリックしてインストールしてください。

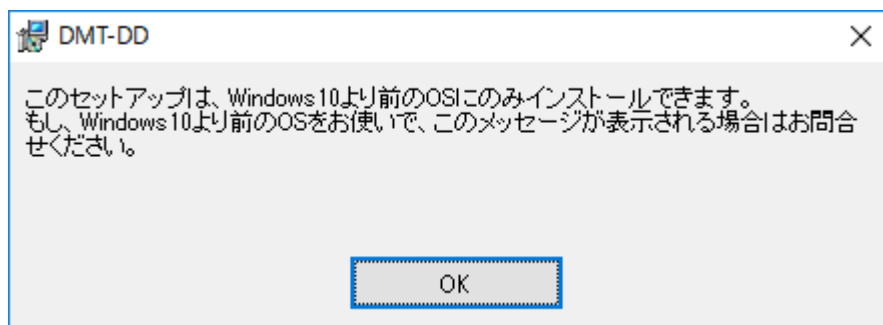
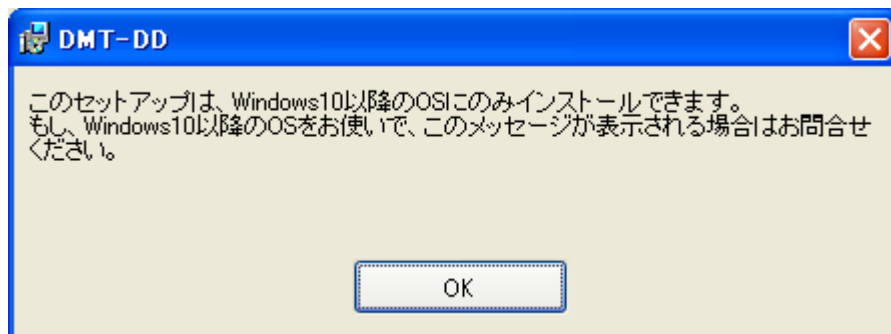


ライセンス条項を確認して「同意する」を選択し、次へをクリックしてください。



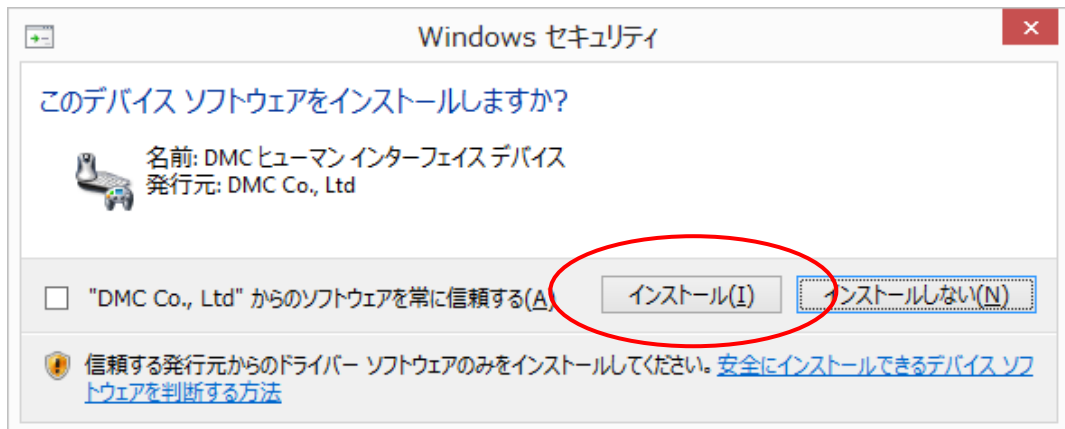


(注意) 対象 OS と異なるインストーラを実行している場合、下記のようなメッセージが表示され、インストールが完了しません。改めて、対象 OS のインストーラを再度実行してください。



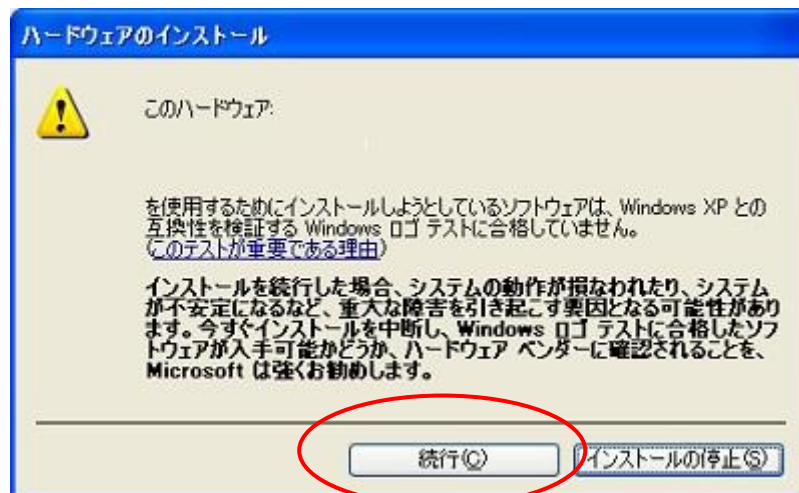
インストール中に以下の様なダイアログが複数回表示される場合があります。

Windows7 以降の OS の場合



「インストール」をクリックしてください。

WindowsXP の場合



「続行」をクリックしてください。



インストール完了後、「閉じる」を押下してください。

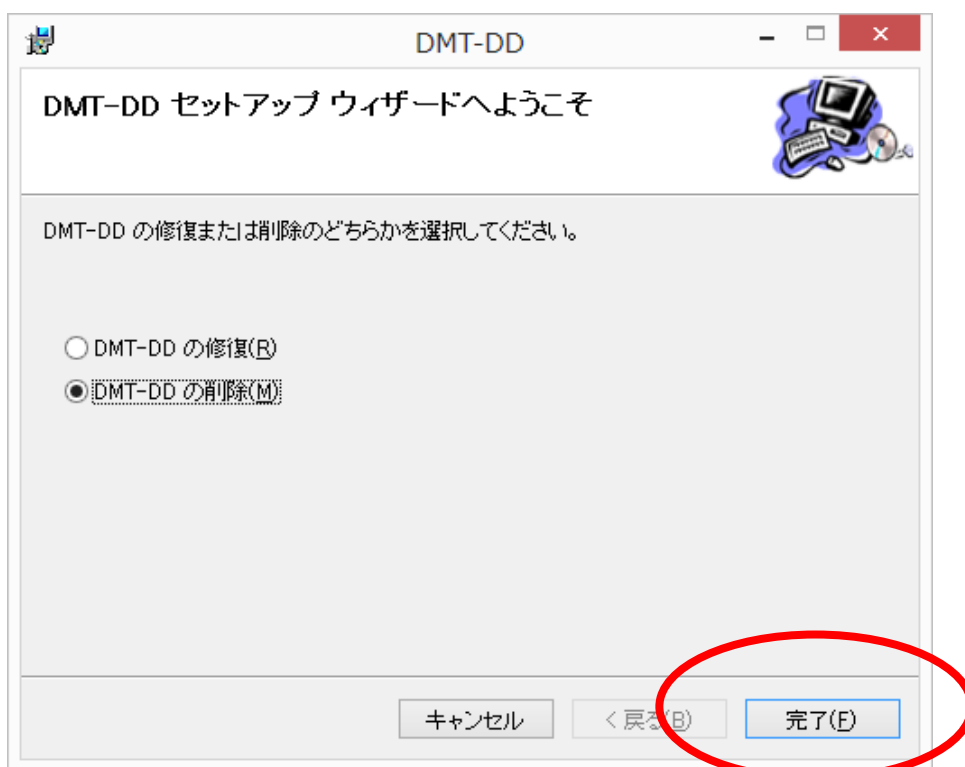
以上でインストールは完了です。

4. アンインストール

インストール時に使用した「DMT-DDSetup.msi」もしくは「DMT-DDSetup_ms.msi」をダブルクリックして下さい。

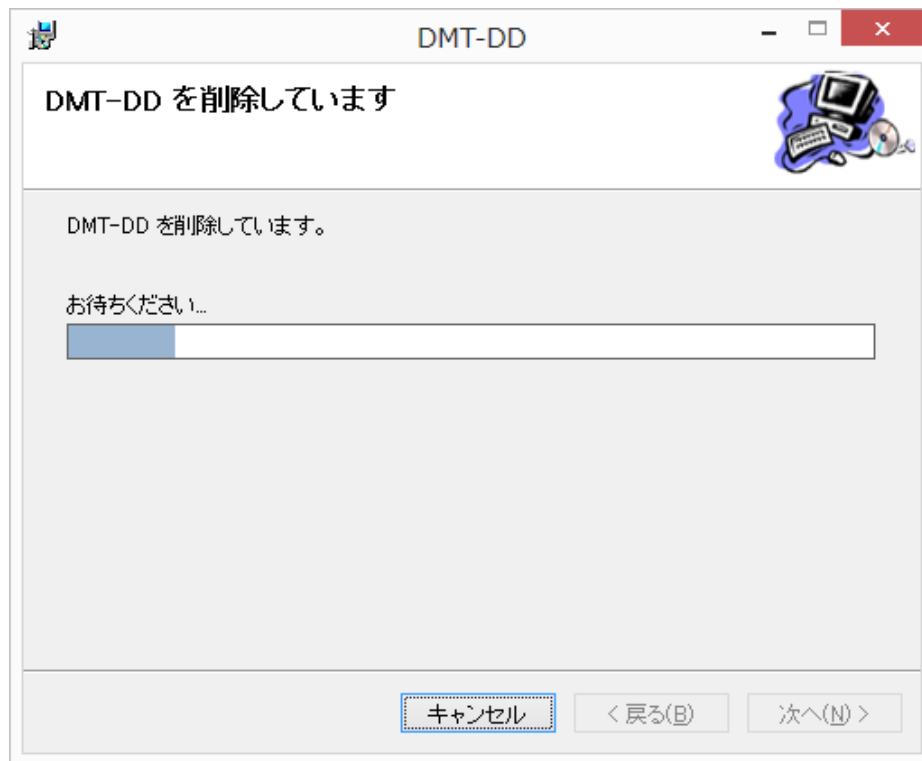
DMT-DD の修復／削除メニューが表示されるので、「DMT-DD の削除」を選択して「完了」ボタンをクリックして下さい。

※常駐機能が有効の場合にアンインストールが失敗する場合があります。アンインストールする際は事前に常駐機能を無効に設定して下さい。



注意) DMT-DD をアンインストールすると、インストールされているドライバーも自動的にアンインストールされます。

注意) アンインストールに失敗する場合は、修復を実行後、再度アンインストールをお試しください。



「閉じる」を押下して下さい。

以上でアンインストールは完了です。

5. タッチパネルドライバ設定ツールの起動

正常にインストールされればデスクトップに”「DMT-DD」のショートカット”が作成されます。



ショートカットをダブルクリック、もしくはプログラムファイルから実行してください。

32bit の場合: システムドライブ ¥ Program Files ¥ DMT-DD ¥ bin ¥ DMT-DD.exe

64bit の場合: システムドライブ ¥ Program Files(x86) ¥ DMT-DD ¥ bin ¥ DMT-DD.exe

・Windows7 以降の OS でご使用の場合

設定ツールは、ドライバのインストール等を行う為、**管理者権限が必要となります**。UAC(ユーザーアカウント制御)の設定によっては以下の様なダイアログが表示される場合があります。「はい」を選択し起動して下さい。



起動完了するとデバイスの追加画面が表示されます。



6. タッチパネルドライバーの設定手順

6.1. タッチパネルドライバーの動作までの流れ

タッチパネルドライバーを使用するには各画面で以下の手順が必要です。
各手順の操作方法については、後述の該当ページをご確認下さい。

1. ドライバーのインストール（「7-2. インストール」参照）

デバイスの追加画面でインストールを実行

2. 設定ファイルの選択（「8-8. 設定ファイル」参照）

基本設定画面で任意の設定ファイルを選択

※ドライバーインストール時の初期入力モードはタッチ入力です。マウスモードで使用したい場合に設定してください。

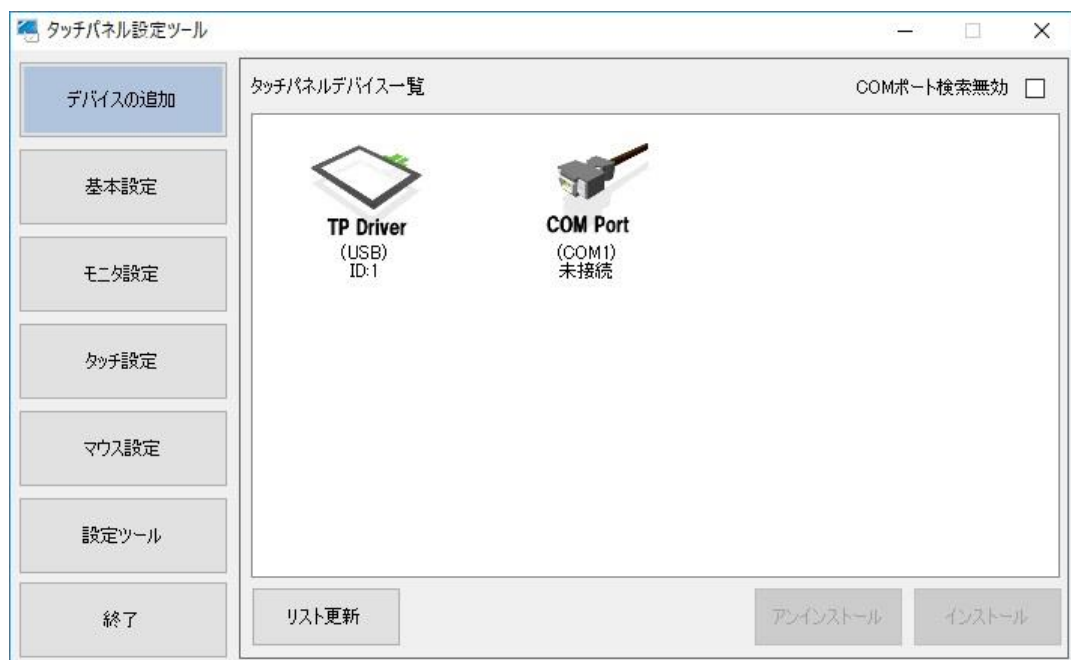
Windows7以降で正常にタッチ入力を行う場合には、以下のTablet PC設定が必要になります。
マウスモードで使用する場合は不要です。

3. TabletPC 設定（「10-1. タッチパネルの構成」参照）

タッチ設定画面からTabletPC設定を開き、「構成」の「セットアップ」を実行

※マウス入力を行う場合は不要です。

インストールが正常に完了すると以下の様にタッチパネルドライバーのアイコンと接続方法、IDが表示されます。



■マルチディスプレイ環境での追加設定手順

マルチディスプレイ環境で使用する場合は、タッチパネルドライバのインストールの後に追加で以下の設定を行う必要があります。

1. **モニタの構成**（「9. モニタ設定」参照）
モニタ設定画面で「モニタ構成」を実行

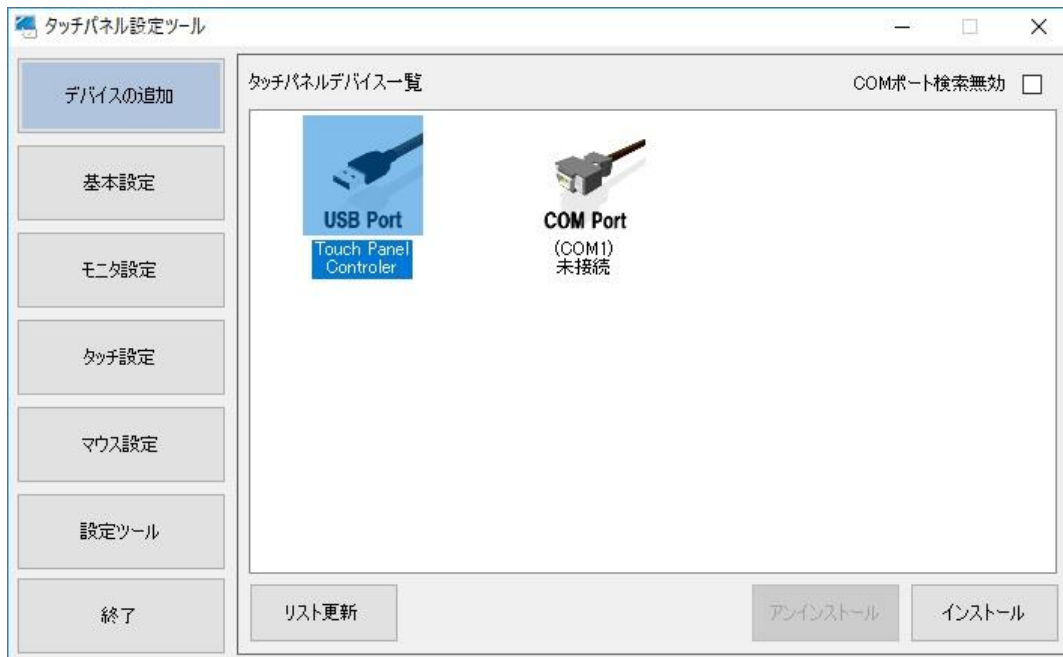


※故障などでモニタを交換した場合も、再度「モニタ構成」を実施してください。
また、接続する USB ポート、COM ポートを変更した場合にも、再度「モニタ構成」を実施してください。

7. デバイスの追加

7.1. タッチパネルデバイス一覧

接続している USB のタッチパネルコントローラ及び接続可能な COM ポートが表示されます。



接続している USB のタッチパネルコントローラ、接続可能な COM ポート、インストールしてあるドライバーがアイコンで表示されます。

USB のタッチパネルコントローラを接続、または、切断すると自動的にリストが更新されます。

※インストール/アンインストール中は自動更新されません。

手動でリストを更新する場合は「リスト更新」ボタンを選択して下さい。

※アイコンの間隔は、OS のアイコン間隔の設定等に依存しています。

アイコンは以下に分類して表示します。

アイコン	接続種別	備考
 USB Port Touch Panel Controller	USB	既にドライバーをインストールしてある場合は表示しません。
 COM Port (COM1) 未接続	COM ポート VCP ポート	既にドライバーをインストールしてある場合は表示しません。
 TP Driver (USB) ID:1	インストール済み USB ドライバー	USB 接続のタッチパネルに ドライバーがインストールされた状態
 TP Driver (COMx) ID:1	インストール済み COM ドライバー	COM/VCP 接続のタッチパネルに ドライバーがインストールされた状態

7.2. インストール

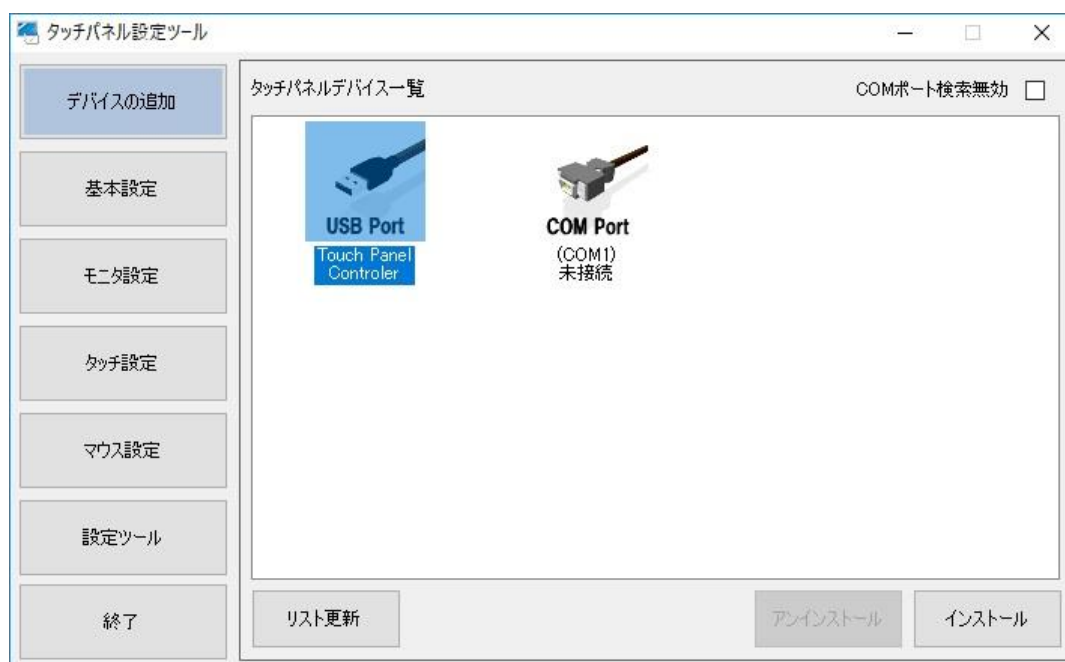
タッチパネルドライバーをインストールします。

インストールは以下の手順に従って行って下さい。

またインストールを行う際はタッチパネルを接続した状態で行ってください。

※Windows7以降のOSでUSB接続で使用する場合、DMT-DDをインストールした状態でコントローラを接続すると自動的にドライバがインストールされます。

1. インストール対象デバイスの選択



タッチパネルデバイス一覧より、インストール対象のデバイスを選択し、「インストール」を押下します

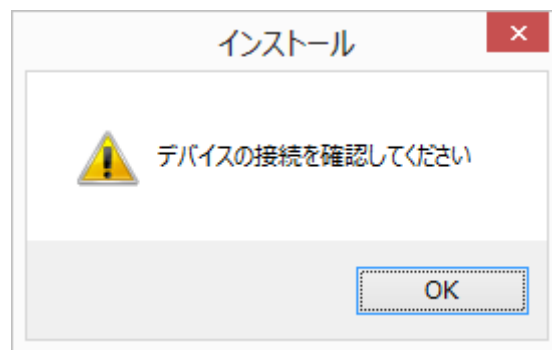
もしくは、インストールを行いたいタッチパネルをタッチしてください。

タッチされたコントローラが選択されます。

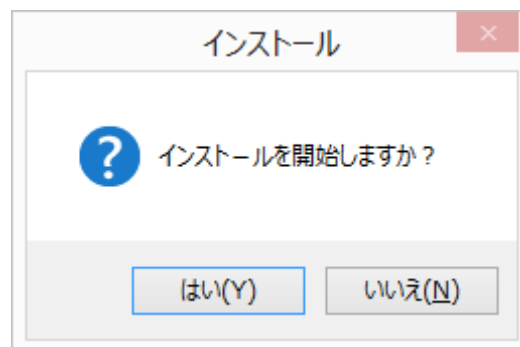
インストール対象のデバイスは以下です。

コントローラ	VID/PID	接続方法
DUS シリーズ (FW-Ver7)	0x0AFA / 0x07D2	USB / シリアル
DUS シリーズ (FW-Ver8)	0x0AFA / 0x07D3	
DUSx100 シリーズ	0x0AFA / 0x07D5	
DUSx200 シリーズ	0x0AFA / 0x07D7	
MTR1000 シリーズ	0x0AFA / 0x03EC 0x0AFA / 0x03ED 0x0AFA / 0x03EE 0x0AFA / 0x03EF	
MTR2000 シリーズ	0x0AFA/0x03F1	
TSC-50 シリーズ	0x0AFA / 0x03E8	
TSC-52 シリーズ	0x0AFA / 0x03F2	

シリアル接続では、「インストール」が押下された時点でコントローラの接続が確認できていない場合はインストールを開始できません。



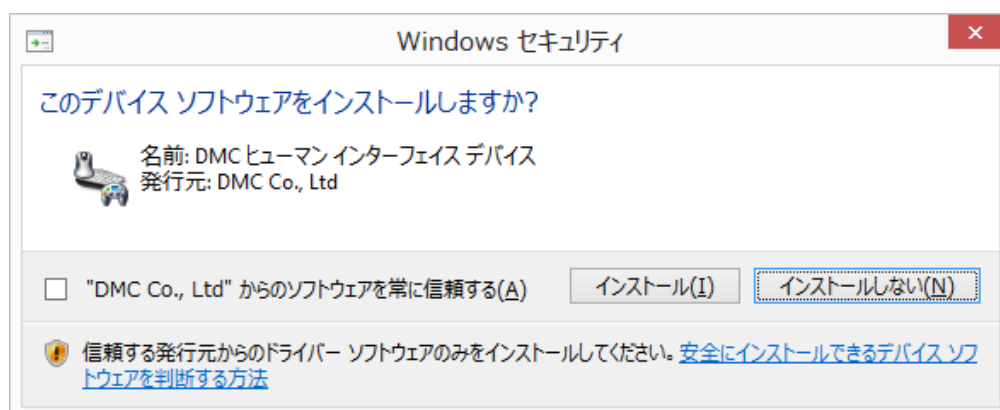
2. 確認ダイアログが表示されます。「はい」を選択します。



3. 初回インストール時は以下のダイアログが表示されます

Windows7 以降の場合

「インストール」を選択します。



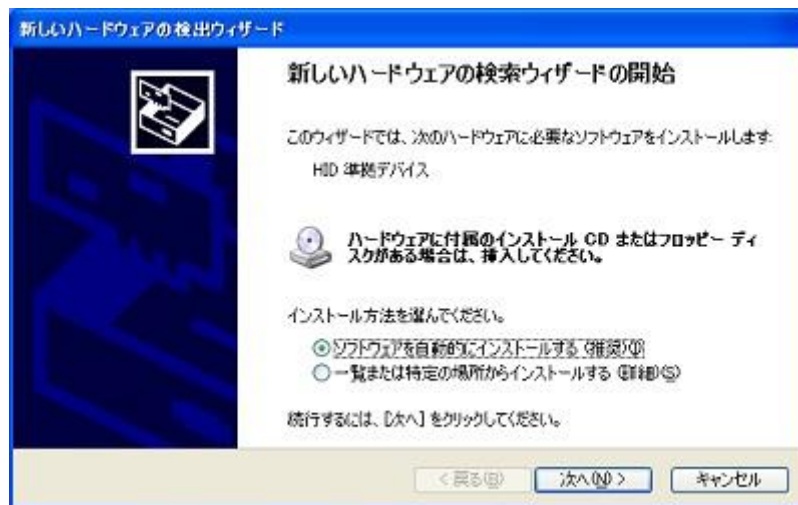
WindowsXP の場合

「続行」を選択します。

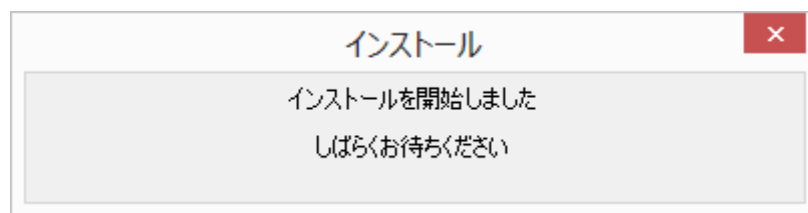


上記画面は複数回表示される場合があります、その都度「続行」を押下して下さい。

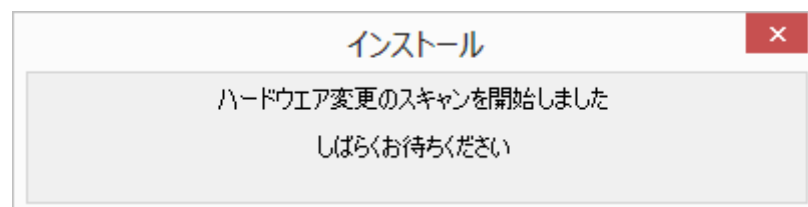
WindowsXP の場合にインストール中に下記の画面が表示される場合があります。
自動的にインストールされますので操作は行わないで下さい。



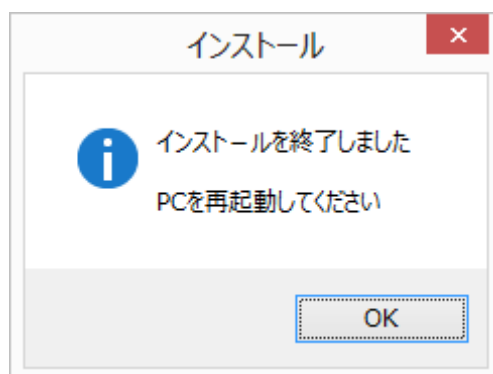
4. インストールが開始され以下の様な表示がされます、しばらくお待ち下さい。



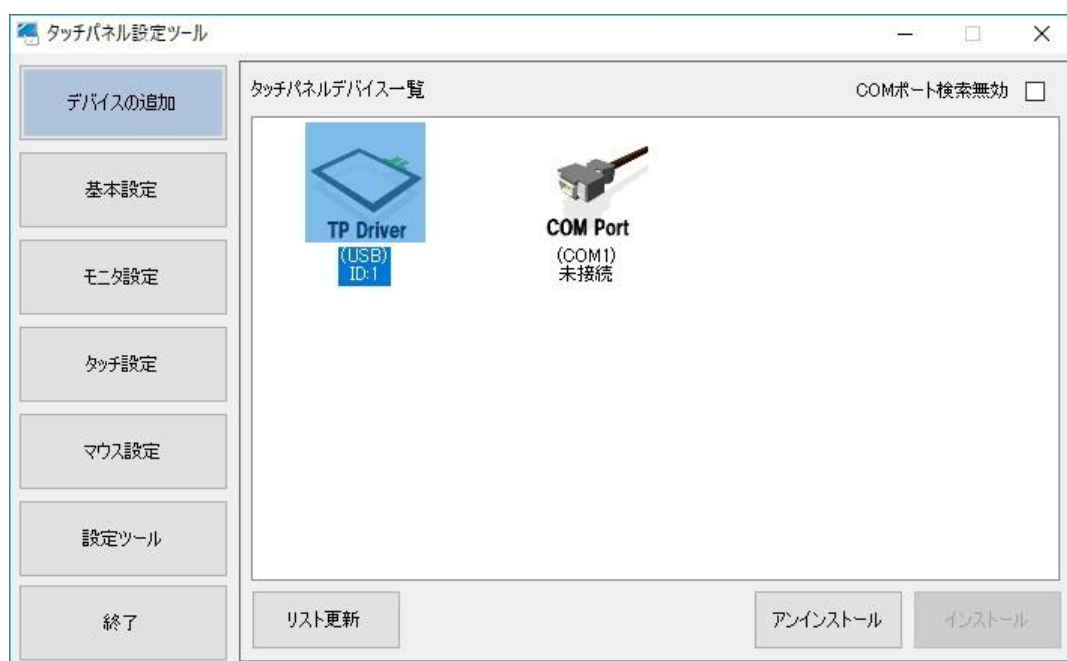
5. インストールが完了し、デバイスをチェックしています、しばらくお待ち下さい。



6. インストールが完了するとダイアログが表示されます、「OK」を押下して下さい。



7. インストール完了



インストールが完了すると「タッチパネルデバイス」一覧にドライバーのアイコンが表示されます。

完了後、PC を再起動して下さい。

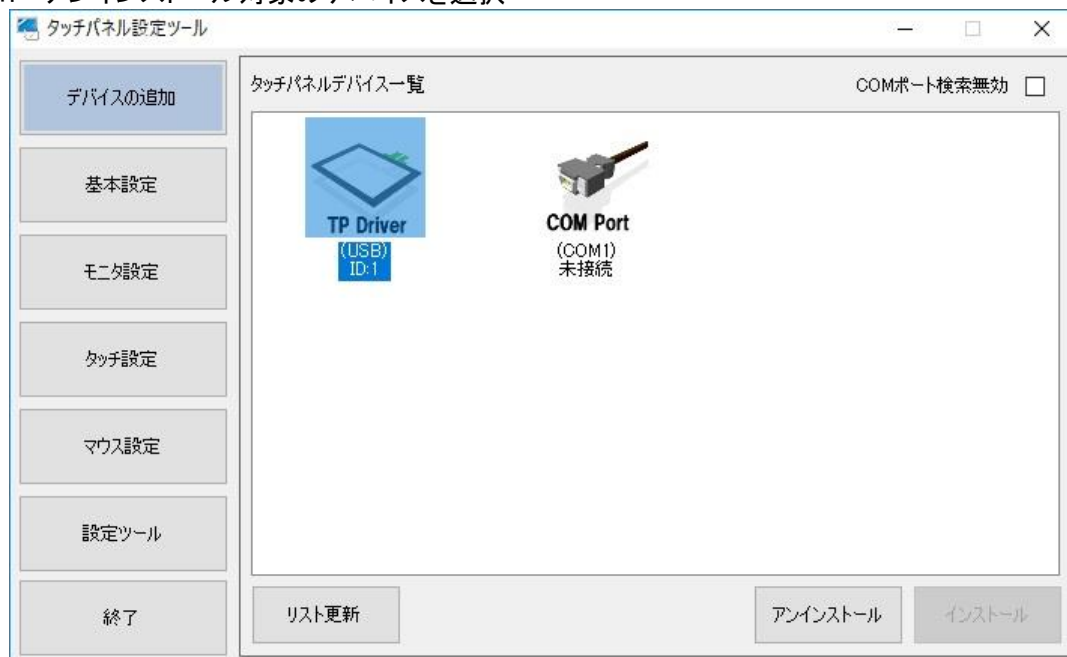
以上でインストールは完了です。

（注意）Windows10 の場合、DUS や MTR の場合でも、PC を再起動するまで 1 点タッチで動作します。

7.3. アンインストール

タッチパネルドライバーをアンインストールし、Windows の標準ドライバーをインストールします。
アンインストールは以下の手順に従って行って下さい。

1. アンインストール対象のデバイスを選択



タッチパネルデバイス一覧のドライバーのアイコンを選択し「アンインストール」を押下します。

もしくは、アンインストールを行いたいタッチパネルをタッチしてください。
タッチされたドライバーが選択されます。

<注意>

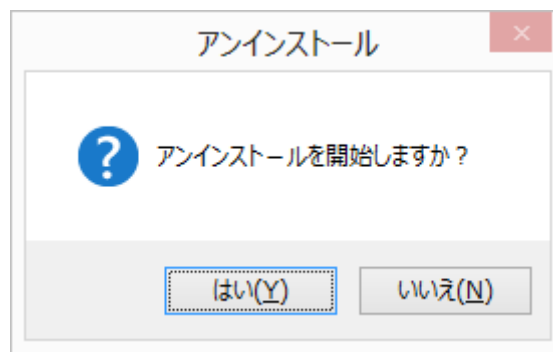
■TSC-50 シリーズコントローラを USB 接続で使用している場合のドライバーのアンインストール方法について

TSC-50 シリーズコントローラの USB 接続ドライバーは、設定ツールからアンインストールすることはできません。

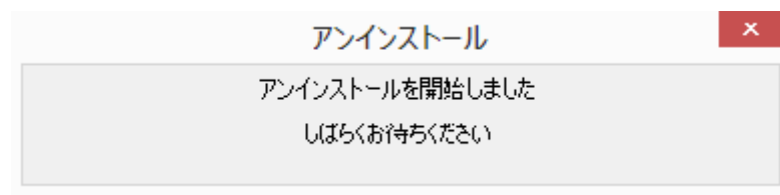
(Windows 標準ドライバーが存在せず、アンインストールを行ったとしても USB ケーブルの PnP により、再び同じタッチパネルドライバがインストールされてしまうためです。)

アンインストールを行いたい場合は、DMT-DD 自体を Windows の「コントロールパネル」よりアンインストールしてください。DMT-DD のアンインストールにより TSC-50 シリーズ用のドライバーがアンインストールされます。

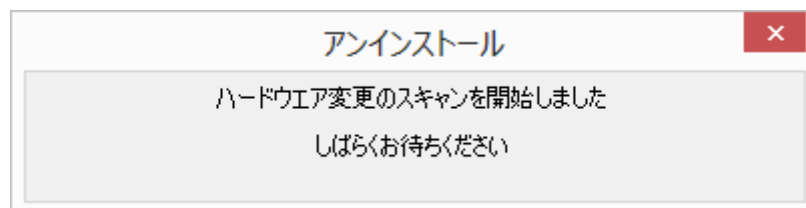
2. 確認ダイアログが表示されます。「はい」を選択します。



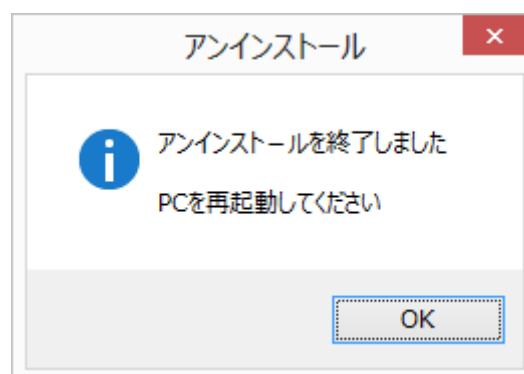
3. アンインストール中です、しばらくお待ち下さい。



4. アンインストールが完了し、デバイスをチェックしています、しばらくお待ち下さい。

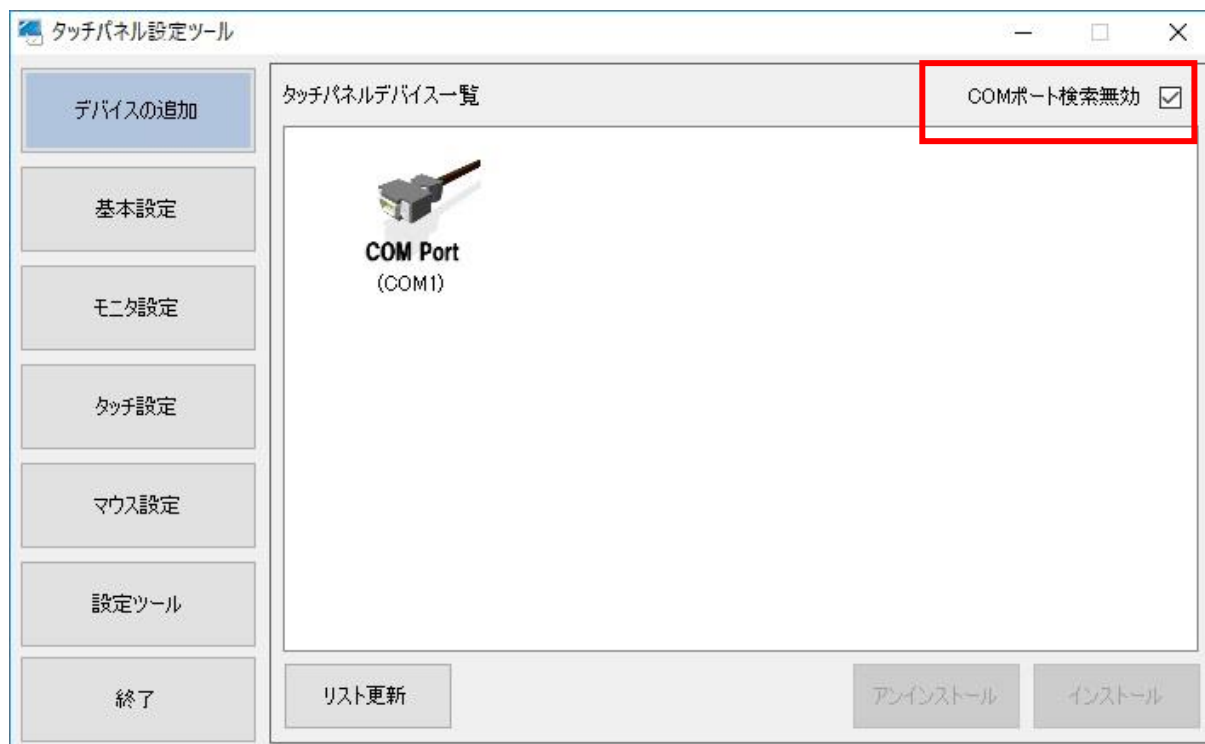


5. アンインストールが完了しました、「OK」を押下後、PC を再起動して下さい。



以上でアンインストールは完了です。

7.4. COM ポート検索無効



■COM ポート検索無効

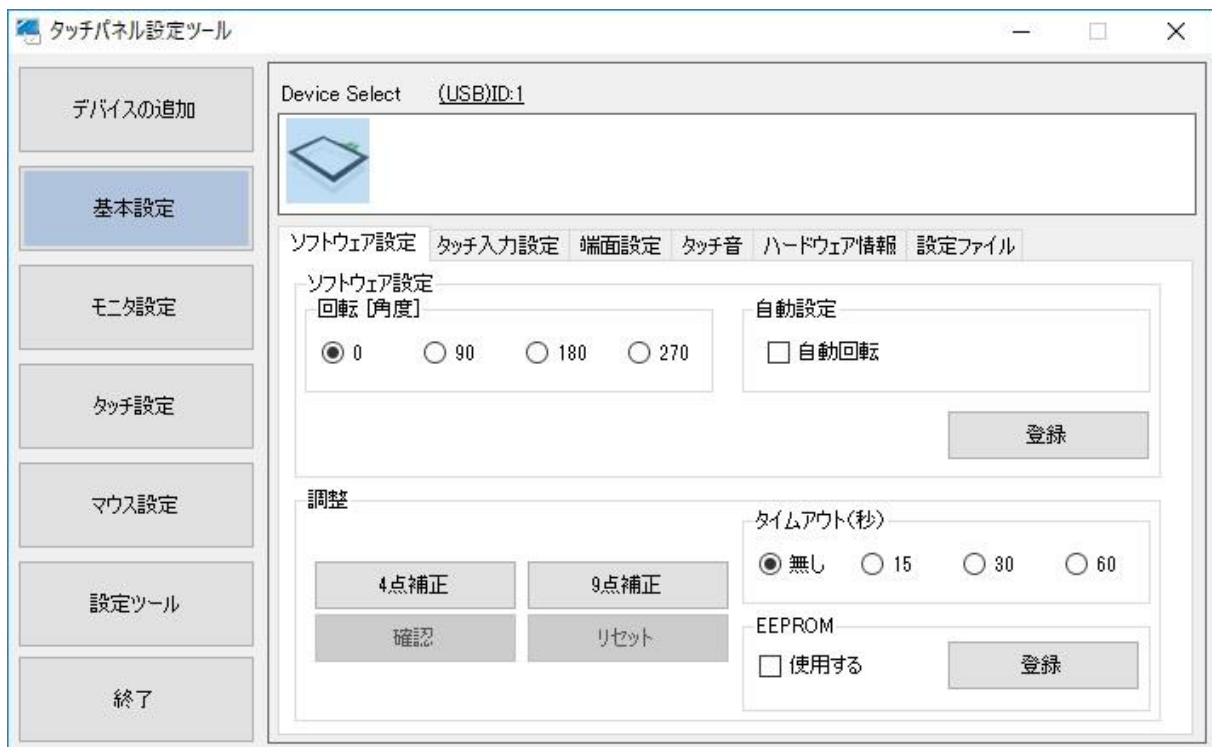
チェックを付けることで、COM ポートにタッチパネルコントローラが接続されているかどうか、検索する処理を無効にします。

チェック無しの状態で、各 COM ポートに対してコマンド送信を行い、コマンドに応答があればタッチパネルコントローラが接続されていると判断します。

無効(チェック有り)時、COM ポートに対してドライバをインストールすることはできません。

デフォルト「チェック無し」

8. 基本設定



ドライバーおよびコントローラを、個別に設定やメンテナンスを行うことができます。

設定を行う際は”Device Select”よりドライバーまたはタッチパネルコントローラを選択します。もしくは、設定を行いたいタッチパネルをタッチすることで、タッチされたドライバーまたはタッチパネルコントローラが選択されます。

8.1. ソフトウェア設定



現在選択されているドライバー又はコントローラの設定を行う事が出来ます。

■回転

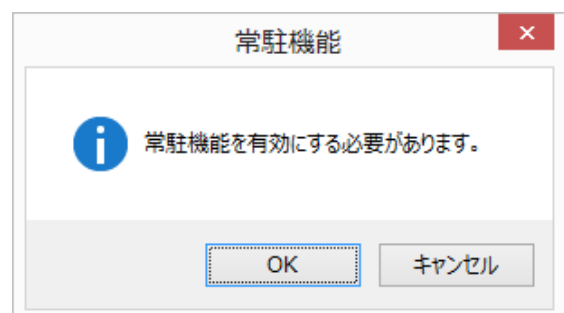
タッチした際に選択した「0」「90」「180」「270」度回転した XY 座標が出力されます。
デフォルト「0 度」

■自動回転

常駐機能により、画面回転の自動検出を有効にします。本機能は、マウス出力時のみ(8-7 参照)有効に機能します。

詳細は、後述する「12.設定ツール」項目を参照ください。
デフォルト「チェックなし」

登録時に常駐機能が無効になっている場合は
登録実行時に右のようなダイアログが表示されます。
「OK」をクリックしてください。



■調整

・調整

ソフトウェアキャリブレーションを実行する事が出来ます。

抵抗膜方式である MTR コントローラ、および TSC コントローラを使用する場合は、この操作が必須となります。この操作を行うことによりタッチした位置とカーソル位置を合わせることができます。

補正データはレジストリに書き込まれます。もし、EEPROM 使用するを有効にしている場合、補正データはタッチパネルコントローラの EEPROM に保存されます。

実行する場合はドライバーを選択後、「4 点補正」または「9 点補正」を押下して下さい。

又本機能を実行するにはモニタ構成及びタッチ入力の場合は TabletPC の構成のセットアップが完了している必要があります。

・リセット

調整結果を初期化する場合のリセットを実行して下さい。

・確認

調整データを確認する事が出来ます、理想点が青色で、タッチした補正点が赤色で表示されます。

タッチした補正点(赤十字)が理想点とはズレている場合がありますが、これは補正点は生データを表示しているためですので、理想点(青色)と一致していなくても問題ございません。

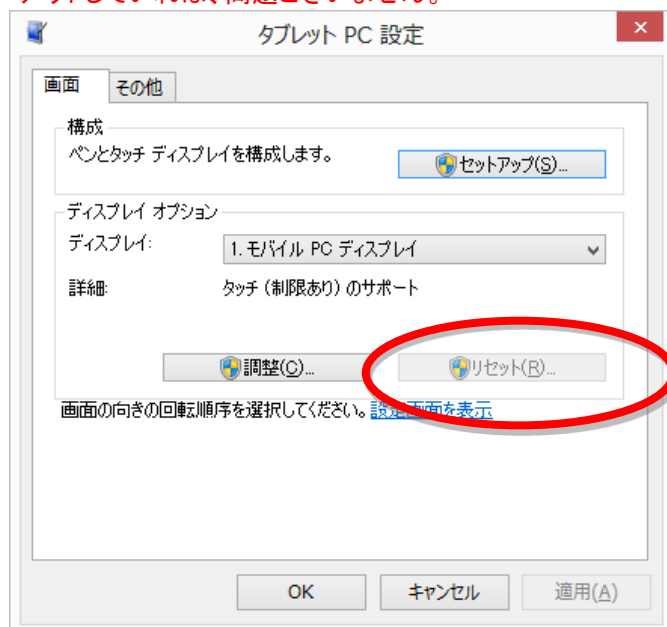


確認を終了する場合、「Enter」を入力して下さい

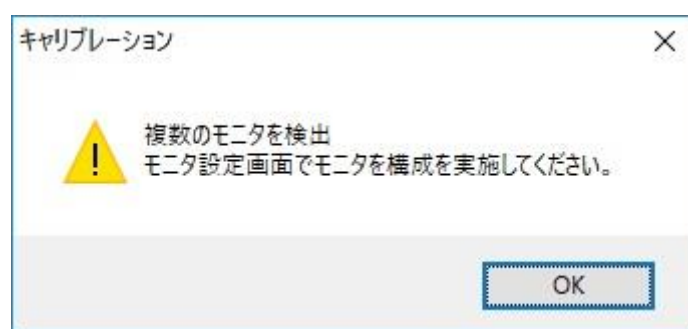
注意)本機能を用いて調整を行う場合は Windows 標準の調整機能は使用しないで下さい。

既に設定済みの場合は事前にリセットが必要です。

下図のようにグレイアウトしていれば、問題ございません。



注意)デュアルディスプレイ環境で、モニタ構成が未実施の場合は以下のダイアログが表示されます。

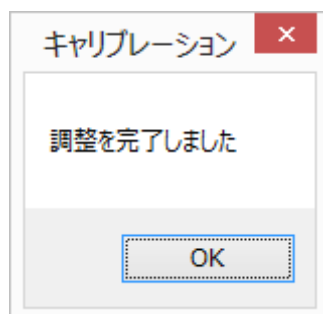


■調整方法

1. ソフトウェア設定画面で「4点補正」または「9点補正」を実行します。
2. 選択したドライバーのタッチパネルに紐付いているモニタに以下の調整画面が表示されます。

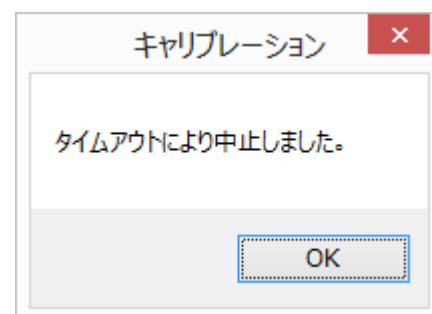


3. 画面上のマーカの中心をタッチして下さい。タッチ後、次のマーカが表示されますので順番にタッチして下さい。
4. 全てのマーカをタッチすると調整完了です。以下のような画面が表示されます。「OK」をクリックし調整を終了します。



■タイムアウト(秒)

4点および9点補正中にタイムアウトを行います。
タイムアウトまでの時間を「15」「30」「60」秒で設定できます。
調整画面で、設定した時間タッチ操作せずに放置するとタイムアウトします。
タイムアウト後、「OK」をクリックする、もしくはタイムアウト設定時間待ってください。調整実行前の状態に戻ります。
※この設定は、全てのタッチパネルに対して共通の設定になります。
デフォルト「無し」（タイムアウトを行いません）



■EEPROM

EEPROM が使用可能なタッチパネルコントローラの場合、補正データを EEPROM に保存することができます。

EEPROM を使用したい場合、「使用する」にチェックを入れて登録ボタンを押下してください。

※EEPROM が使用できないタッチパネルコントローラの場合、「使用する」は表示されません。

・EEPROM が使用できる場合

EEPROM

☐ 使用する

登録

・EEPROM が使用できない場合

EEPROM

EEPROMがありません。

EEPROM 機能のコントローラ対応表

コントローラ	接続	EEPROM	4 点補正	9 点補正	確認	リセット
DUS	USB	×	－	－	－	－
	シリアル	×	－	－	－	－
MTR1000	USB	○	○	△※2	－	○
	シリアル	○	○	△※2	－	○
MTR2000	USB	△※2	○	○	－	○
	シリアル	△※2	○	○	－	○
TSC-50	USB	△※1	○	○	－	○
	シリアル	△※1	○	○	－	○
TSC-52	USB	○	○	○	－	○
	シリアル	○	○	○	－	○

※1 EEPROM が実装されていない場合は表示されません。

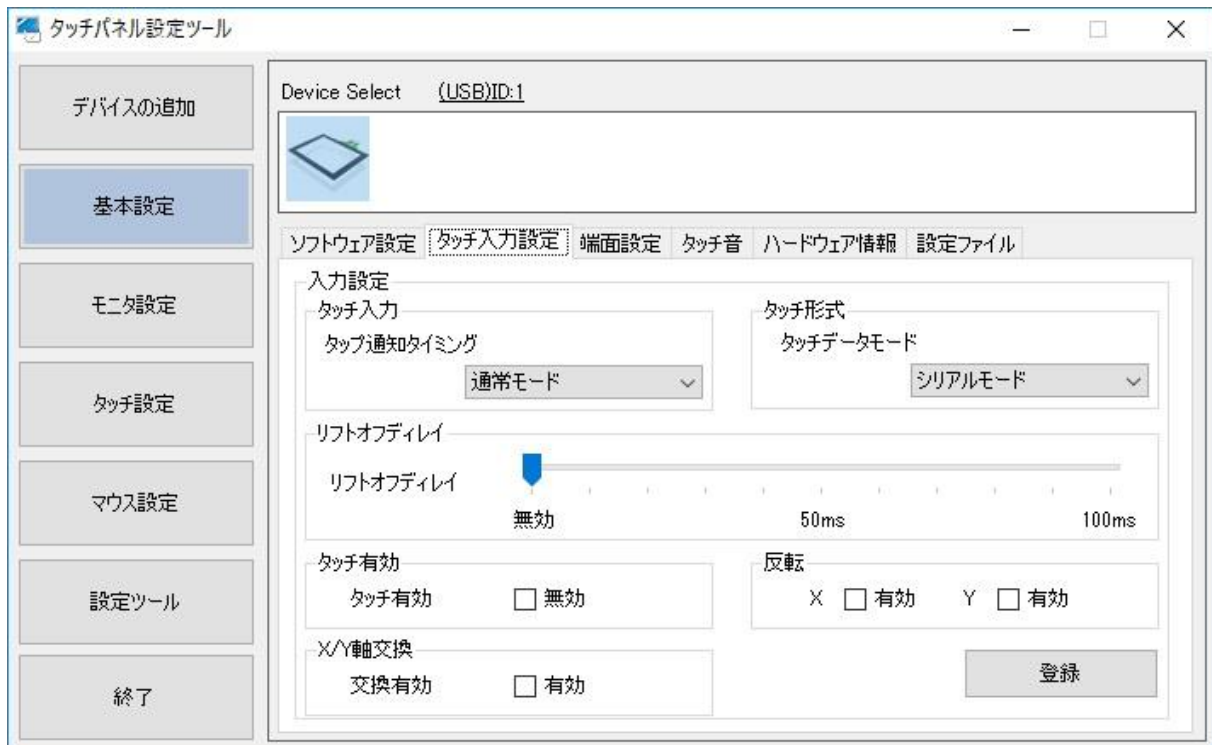
※2 ファームウェアのバージョンにより対応していない場合があります。

<注意>

タッチパネルコントローラの仕様により、タッチパネルが正方向（弊社図面に示されている方向）と異なる向きで設置されている場合、EEPROM を使用してキャリブレーションを行うと、正確な位置情報が得られない場合があります。

その場合は、「X 軸反転」あるいは「Y 軸反転」を有効にしてからキャリブレーションを実行してください。位置精度が改善される場合があります。

8.2. タッチ入力設定



■タッチ入力

コンボボックスで選択しているドライバーのタッチ入力の動作を設定できます、設定を変更後に登録を押下して下さい。

◇タップ通知タイミング

●通常モード

タッチダウン操作でタッチダウンを通知、タッチアップ操作でタッチアップを通知する。

●離れたときクリック

タッチアップ操作のタイミングでタップ(タッチダウン、タッチアップ)を通知する。
タッチ出力(Touch.mfd)であっても、ポインタがカーソル表示に変わります。

●タッチしたときクリック

タッチダウン操作のタイミングでタップ(タッチダウン、タッチアップ)を通知する。
タッチ出力(Touch.mfd)であっても、ポインタがカーソル表示に変わります。

デフォルト: 通常モード

<注意>

タッチ出力(Touch.mfd)時、「離れたときクリック」および「タッチしたときクリック」に設定すると、長押しによる右クリックが機能しなくなりますのでご注意ください。

■タッチ形式

コンボボックスで選択しているドライバーのタッチデータモードを設定できます。設定を変更した場合は変更後に登録を押下してください。

設定を変更した場合は PC の再起動が必要です。

◇タッチデータモード

●シリアルモード

タッチデータをシリアル形式で出力します。

Windows7/8/8.1 の場合は、こちらを選択してください。

●ハイブリッドモード

タッチデータをパラレル形式で出力します。

Windows10 の場合は、こちらを選択してください。

デフォルト:「シリアルモード」

■リフトオフディレイ

ドライバーのタッチアップ通知を遅延させる時間を設定します。

タッチしている指を離れた時、設定した時間後に離れたとみなします。

無効、または、10ms～100ms の範囲で 10ms 刻みで設定できます。

デフォルト「無効」

■タッチ有効

チェックを入れることでタッチ入力を無効化します。

デフォルト「チェックなし」

■X 軸反転

有効にするとタッチした際の X 座標が反転して出力されます。

デフォルト「チェックなし」

■Y 軸反転

有効にするとタッチした際の Y 座標が反転して出力されます。

デフォルト「チェックなし」

■XY 軸交換

有効にするとタッチした際の X 座標と Y 座標が入れ替わって出力されます。

デフォルト「チェックなし」

8.3. 端面設定



カーソルが画面の端面に近づくとき、カーソルの移動量を増加または減少させることができます。

例えば、タスクバーを自動的に隠している設定にしている時に、タスクバーを表示させるためにカーソルを移動させる場合に効果的です。

■範囲と移動量

上下左右の画面端面の範囲(%)と移動量(%)を設定します。

設定を変更後に登録、または設定を0に初期化したい場合はリセットを押下します。

値は、範囲(%)が0～50、移動量(%)が-50～50の範囲で1刻みで設定できます。

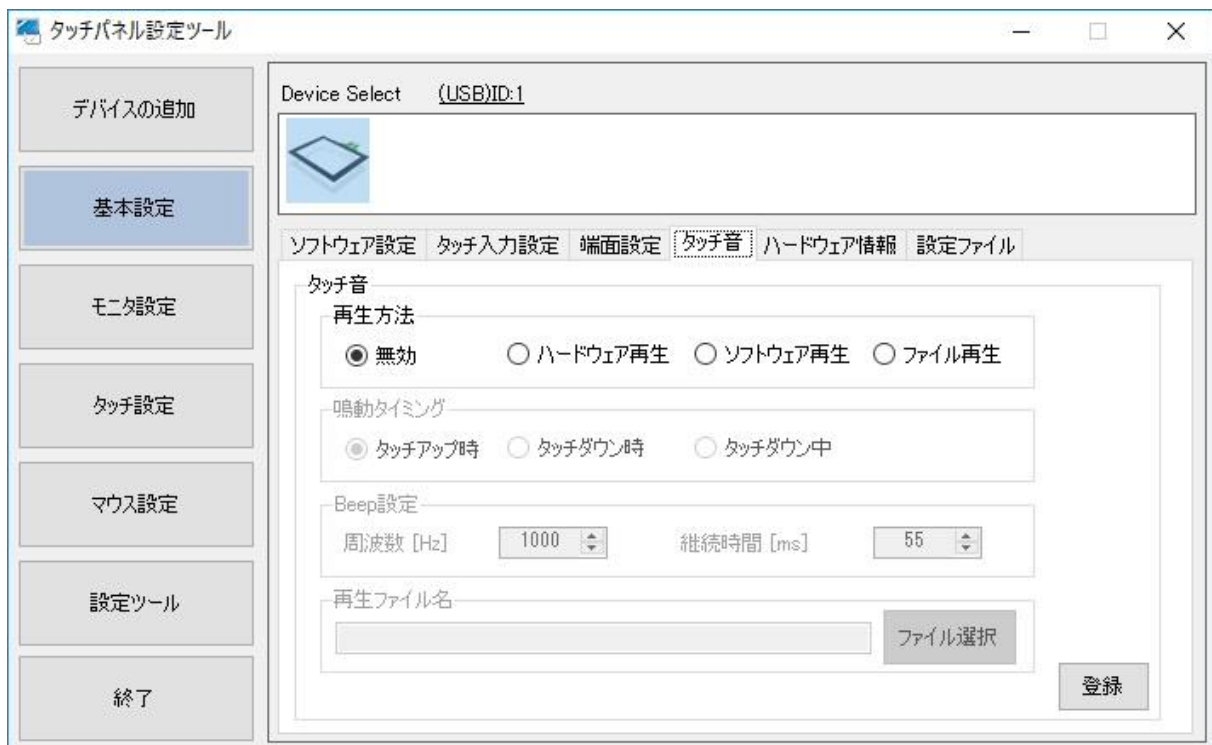
デフォルト:0

例えば、画面下辺にタスクバーがある場合、[下]の項目で

[範囲(%)]=10、[移動量(%)]=20を目安に設定するとタスクバーを表示しやすくなります。

お使いの環境に合わせて微調整してください。

8.4. タッチ音



現在選択しているドライバーのタッチ音の動作を設定できます、設定を変更後に登録を押下して下さい。

■再生方法

- 無効
タッチ音なし。
- ハードウェア再生
マザーボード上のBEEPが鳴動します。
※本機能はハードウェアに依存します。
- ソフトウェア再生
スピーカーより BEEP が鳴動します。
- ファイル再生
スピーカーより指定された wav ファイルが鳴動します。

■鳴動タイミング

- タッチアップ時
タッチアップ操作時にタッチ音が鳴動します。
- タッチダウン時
タッチダウン操作時にタッチ音が鳴動します。
- タッチダウン中
タッチダウン操作からタッチアップ操作の間、タッチ音が鳴動します。

■周波数[Hz]

タッチ音の鳴動周波数を設定できます。
37 Hz～32767 Hz の範囲で設定できます。

デフォルト: 1000 Hz

■継続時間[ms]

タッチ音の鳴動継続時間を設定できます。
1 ms～5000 ms の範囲で設定できます。

デフォルト: 55 ms

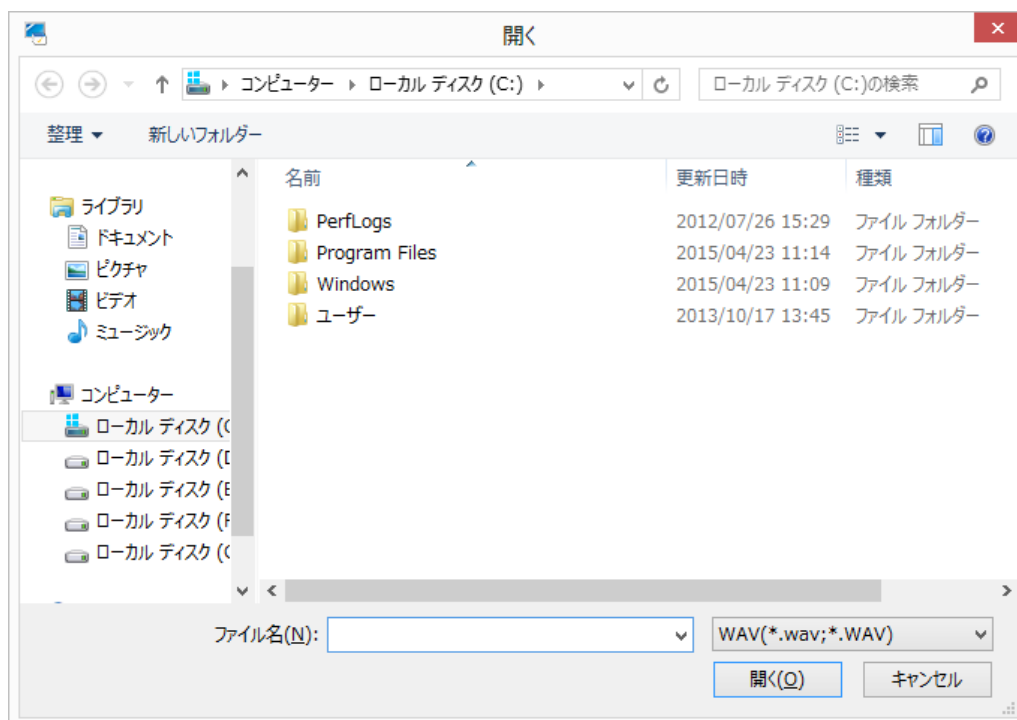
■再生ファイル

ファイル再生時に鳴動する wav ファイルのファイルパスが表示されます。

■再生ファイル

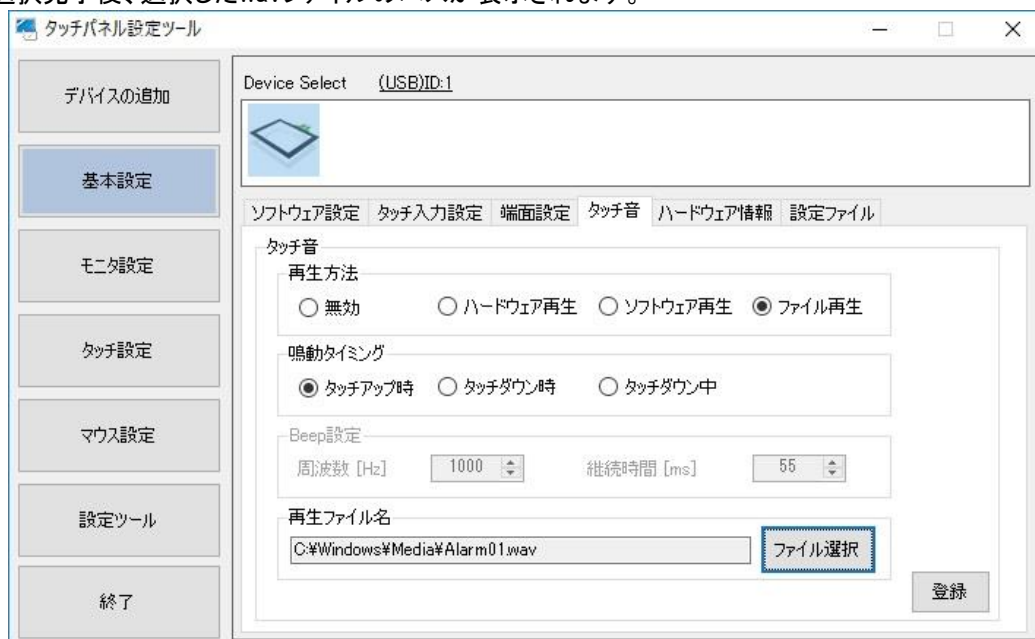
ファイル再生時に鳴動させるwavファイルを選択します。
再生方法が「ファイル再生」選択時に設定が可能となります。

- 1.「ファイル選択」ボタンを押下します。
- 2.「ファイル選択」ダイアログが表示されます。



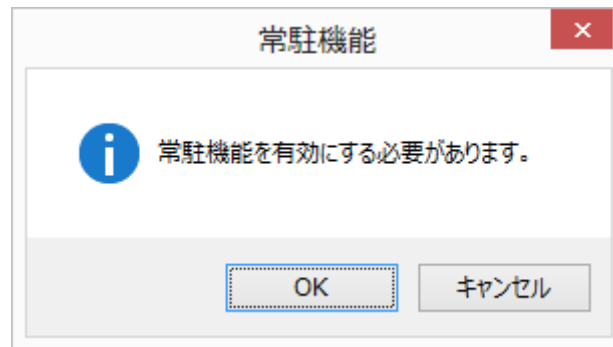
「wav」ファイルを選択して下さい。

- 3.選択完了後、選択したwavファイルのパスが表示されます。

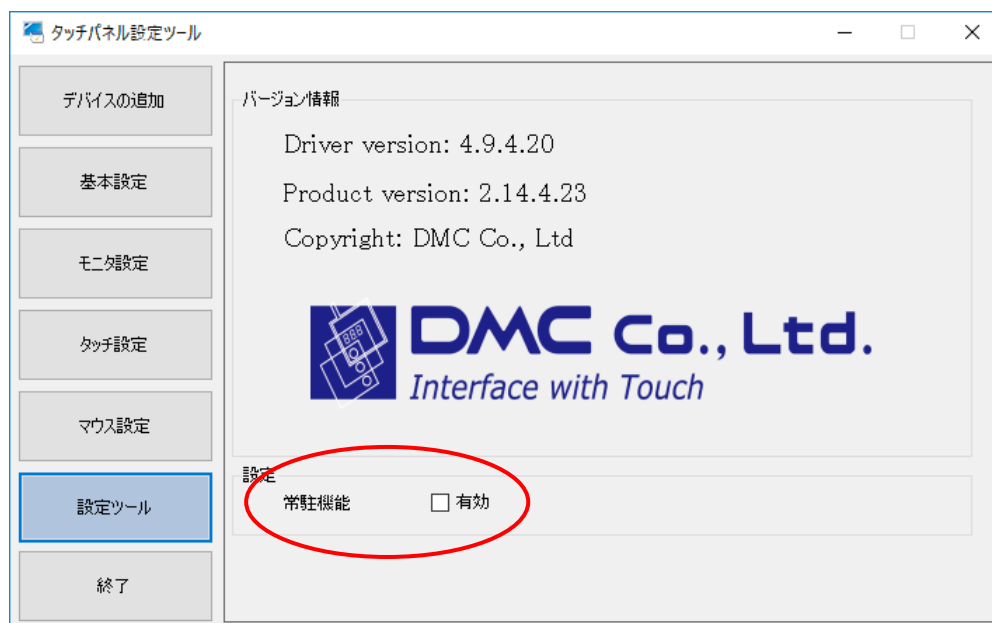


■タッチ音の鳴動について

タッチ音がソフトウェア再生又はファイル再生の場合は常駐機能が有効にされている必要があります。
常駐機能が無効になっている場合は登録実行時に以下のダイアログが表示されます。



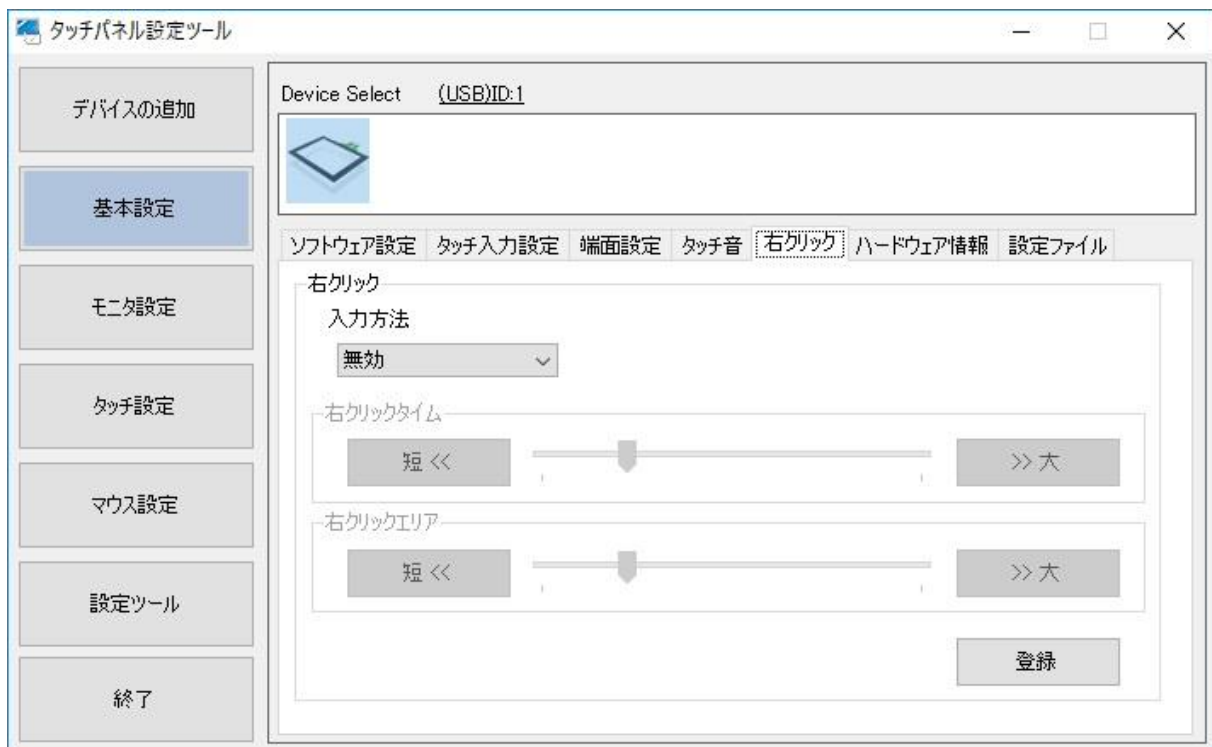
「OK」を選択すると常駐機能が有効となりタッチ音が鳴動します。
常駐機能の設定は「設定ツール」画面でも行う事が出来ます。



詳細は「12.設定ツール」を参照下さい

8.5. 右クリック設定

選択したデバイスがマウス出力可能な場合のみ本設定画面が表示されます。



■入力方法

・無効

右クリック入力を行いません。

・長押し

タッチパネルをタッチし続けると右クリックを入力します。

・二点タッチ

タッチパネルを複数の指でタッチすると右クリックを入力します。

※TSC コントローラの場合、二点タッチに対応していないため本機能は無効です。

デフォルト「無効」

■右クリックタイム ※入力方法が長押しの場合のみ設定可能

設定された右クリックタイム時間以上タッチされた場合は右クリックを出力する

デフォルト「300」ms / 最小「100」ms / 最大「1000」ms

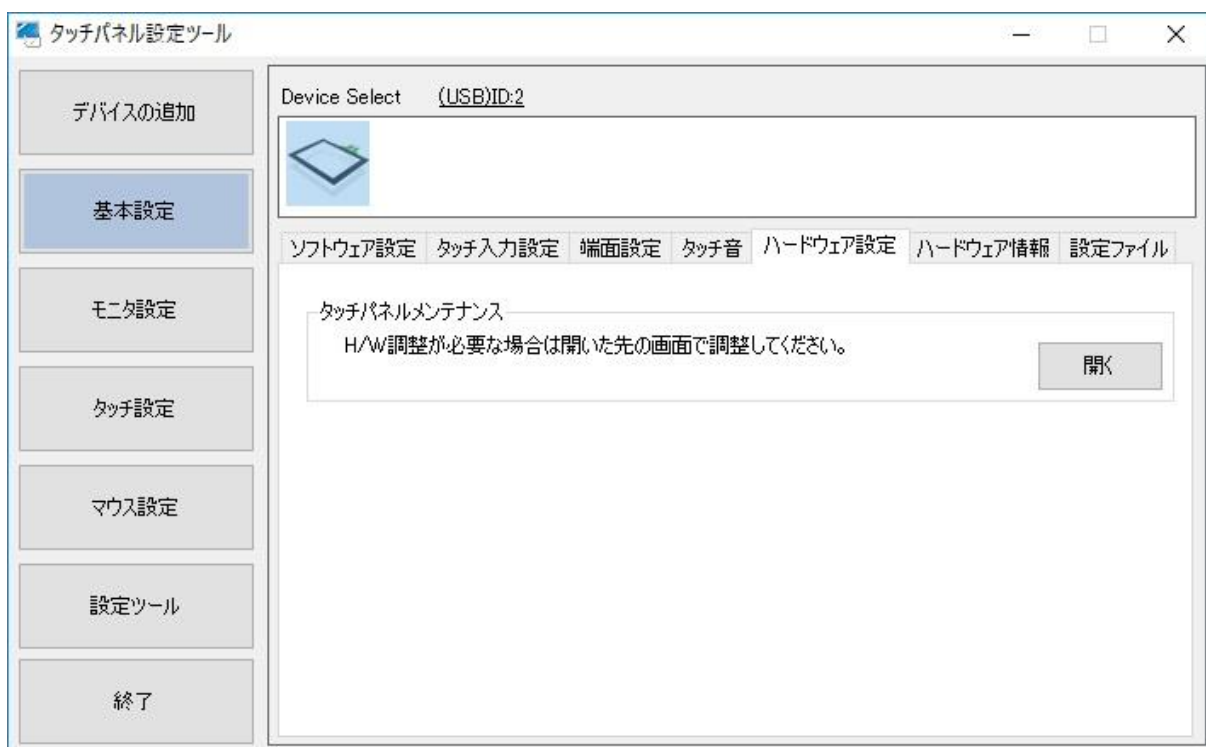
■右クリックエリア ※入力方法が長押しの場合のみ設定可能

初回のタッチ位置から指が右クリックエリア以上動いた場合は右クリックを出力しません。

デフォルト「300」 / 最小「100」 / 最大「1000」

8.6. ハードウェア設定

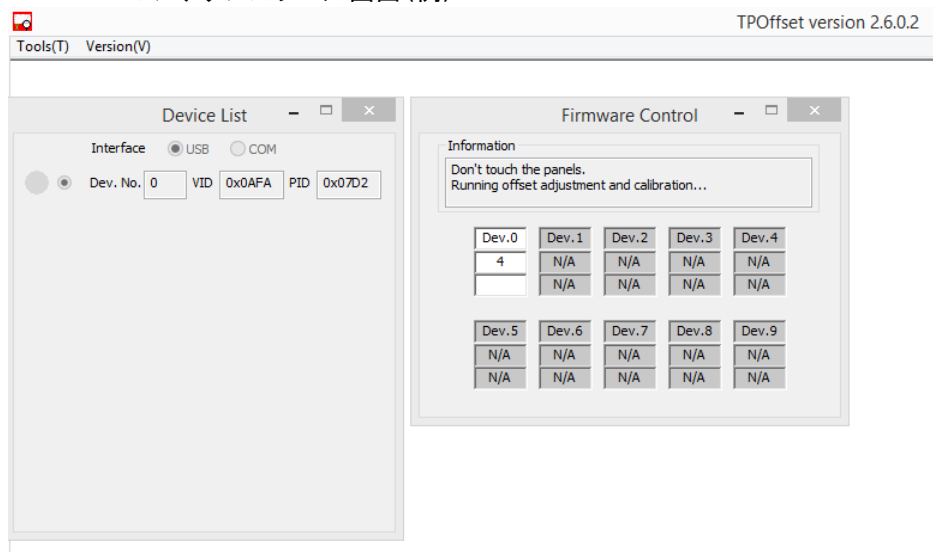
(1) DUS シリーズ互換コントローラの場合



・タッチパネルメンテナンス (TPOffset)

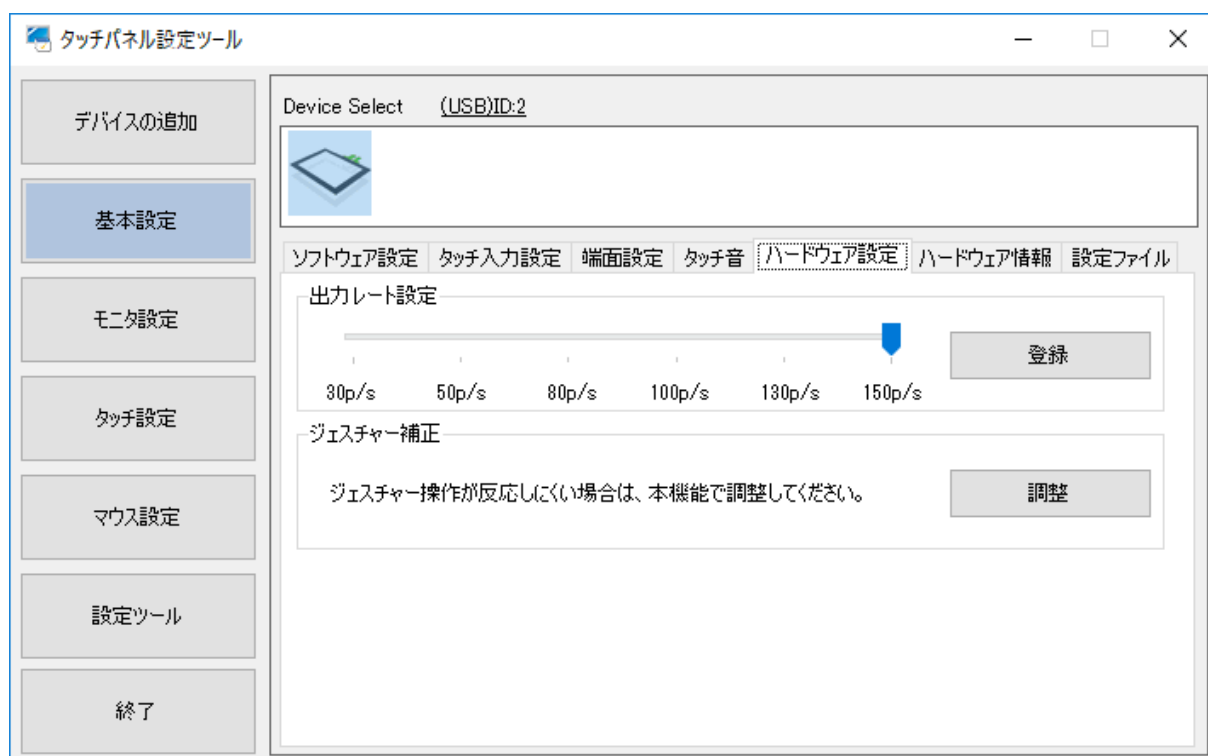
現在選択されているドライバーまたはタッチパネルコントローラのメンテナンスを実行できます。
「開く」を押下して下さい。

メンテナンスツール画面(例)



※メンテナンスツール起動中は設定ツールの操作が行えません。
※本ツールは自動的に終了します。

(2) TSC-50、TSC-52 シリーズコントローラの場合



TSC-50、TSC-52 シリーズコントローラの動作設定を行うことができます。設定変更後に「登録」を押下してください。

※MTR コントローラの場合、「ハードウェア設定」タブは表示されません。

■出力レート設定

出力レートに 30 / 50 / 80 / 130 / 150p/s のいずれかを設定できます。

デフォルトは、最速である 150p/s が設定されています。

■ジェスチャー補正

TSC-52 シリーズコントローラが選択されている場合のみ表示されます。

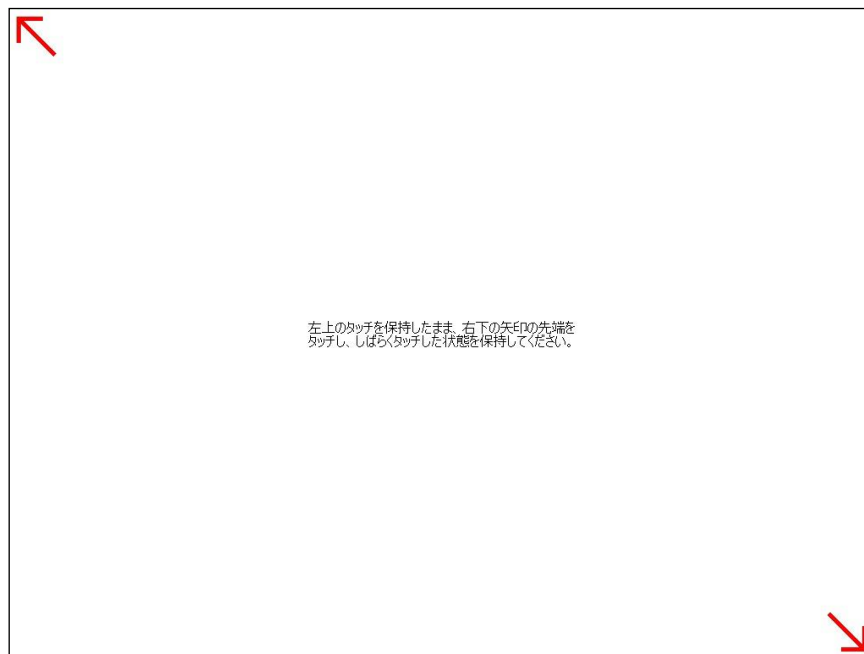
ジェスチャー補正を行うことができます。ジェスチャー操作が反応しにくい場合に、本機能にて改善する場合があります。

■ジェスチャー補正方法

1. ハードウェア設定画面で「ジェスチャー補正」を実行します。
2. 選択したドライバーのタッチパネルに紐付いているモニタに以下の補正画面が表示されます。



3. 画面左上の矢印の先をタッチして下さい、画面右下に矢印が表示されます。

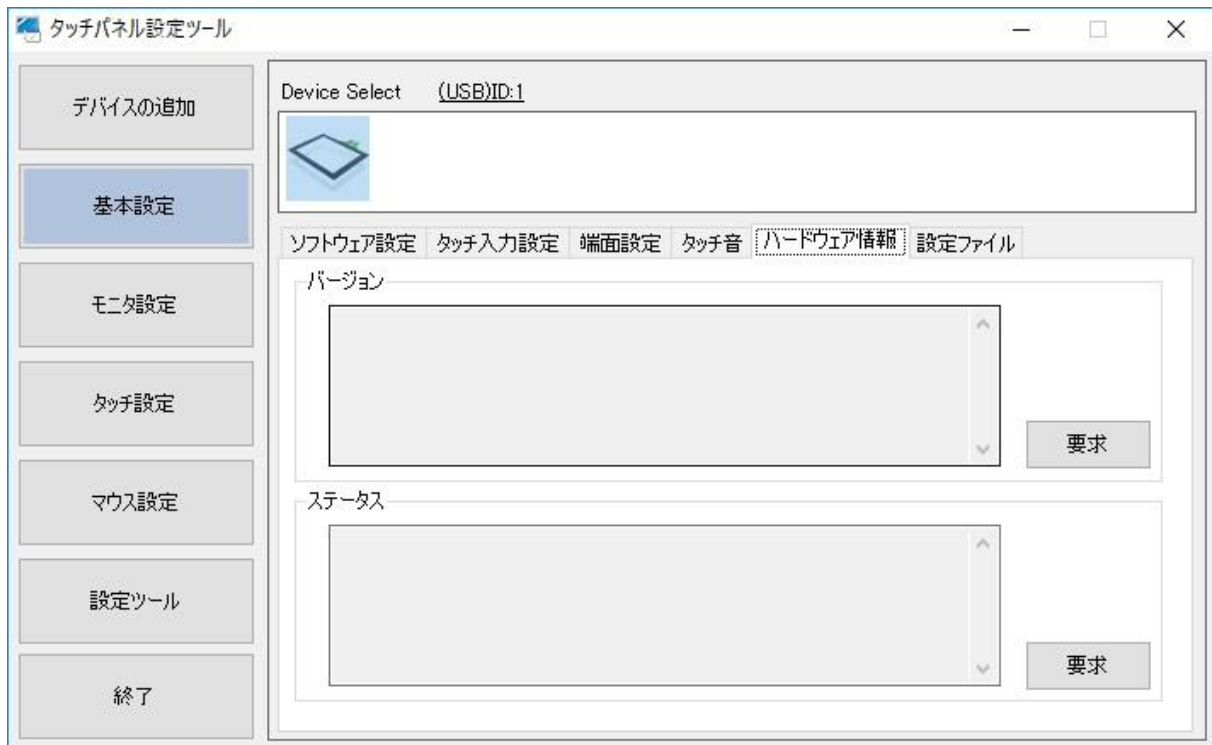


4. 左上の矢印の先をタッチしたまま、右下の矢印の先を暫くタッチします。



5. 暫くするとジェスチャー補正が完了し自動的に補正画面が終了します。
途中で操作をキャンセルしたい場合はキーボードの ESC キーを押下してください。

8.7. ハードウェア情報



・バージョン

現在選択されているドライバーまたはタッチパネルコントローラのバージョンを確認できます。
要求を押下する事で接続されているコントローラのバージョンが表示されます。

・ステータス

現在選択されているドライバーまたはタッチパネルコントローラのステータスを確認できます。
要求を押下する事で現在のステータスが表示されます。

8.8. 設定ファイル



・設定ファイル

現在選択されているドライバーまたはタッチパネルコントローラの設定ファイルを変更できます。
設定ファイル選択後に登録を押下して下さい。

「Touch.mfd」: タッチ出力を使用する場合

「Mouse.mfd」: マウス出力を使用する場合

デフォルトでは設定ファイルは登録されていません、未登録時はタッチ出力されます。

※Windows XP で使用する場合、Mouse.mfd を選択してください。

・設定ファイルの追加、削除

Windows の Explorer から設定ファイルの追加、削除が出来ます、開くを押下して下さい。

※通常は使用しません。

・デフォルト設定

以下の設定項目を初回接続時のデフォルト値として登録します。
登録された設定はドライバーがインストールされた際の初期値として使用されます。

- ソフトウェア設定 「回転」「自動回転」「調整」
- タッチ入力設定 「タッチ入力」「タッチ形式」「リフトオフディレイ」「タッチ有効」「反転」「XY 軸交換」
- 端面設定 「範囲」「移動量」
- タッチ音 「タッチ音」
- ハードウェア設定 「出力レート設定」
- 設定ファイル 「設定ファイル」
- 右クリック設定 「入力方法」「右クリックタイム」「右クリックエリア」
- モニタ設定 「モニタ構成」

登録した設定を削除したい場合は「リセット」を実行します。

■注意

マルチディスプレイ環境でデフォルト値をご使用する場合、以下にご注意下さい。

・「調整」はタッチパネルの個体差等により、デフォルト値を使用すると指に追従しない場合があります。

その場合はコントローラ毎に調整を実行して下さい。

9. モニタ設定



デュアルディスプレイ環境で使用する場合は、本機能を実行する必要があります。

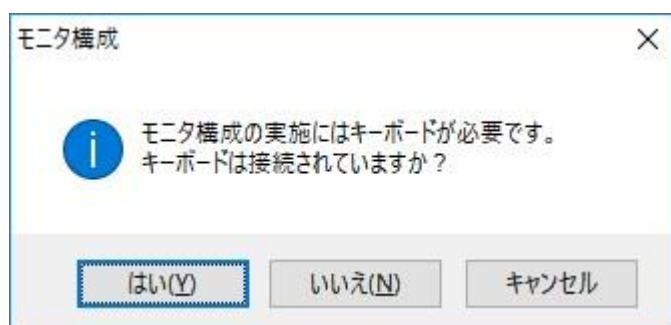
■モニタ更新

画面上のモニタの配置が更新されます。

■モニタ構成

モニタ構成を行うことができます。

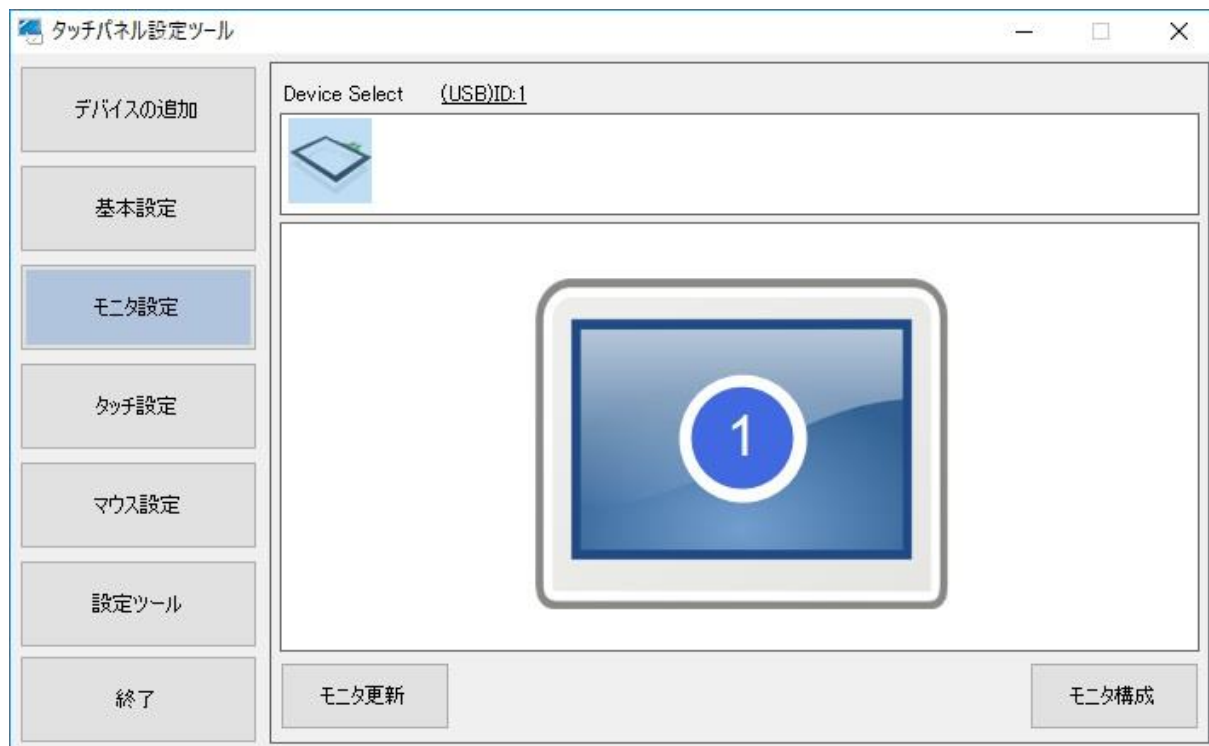
モニタ構成を行う場合には、キーボードが必要となります。



■モニタ構成結果

「モニタ構成」の実行結果を確認することができます。

選択したドライバに関連付けされたモニタがアクティブとなり、ドライバの ID が表示されます。



■モニタ構成方法

1. モニタ設定画面で「モニタ構成」ボタンを押下します。
2. 一番左のモニタから順に以下の様な画面が表示されます。



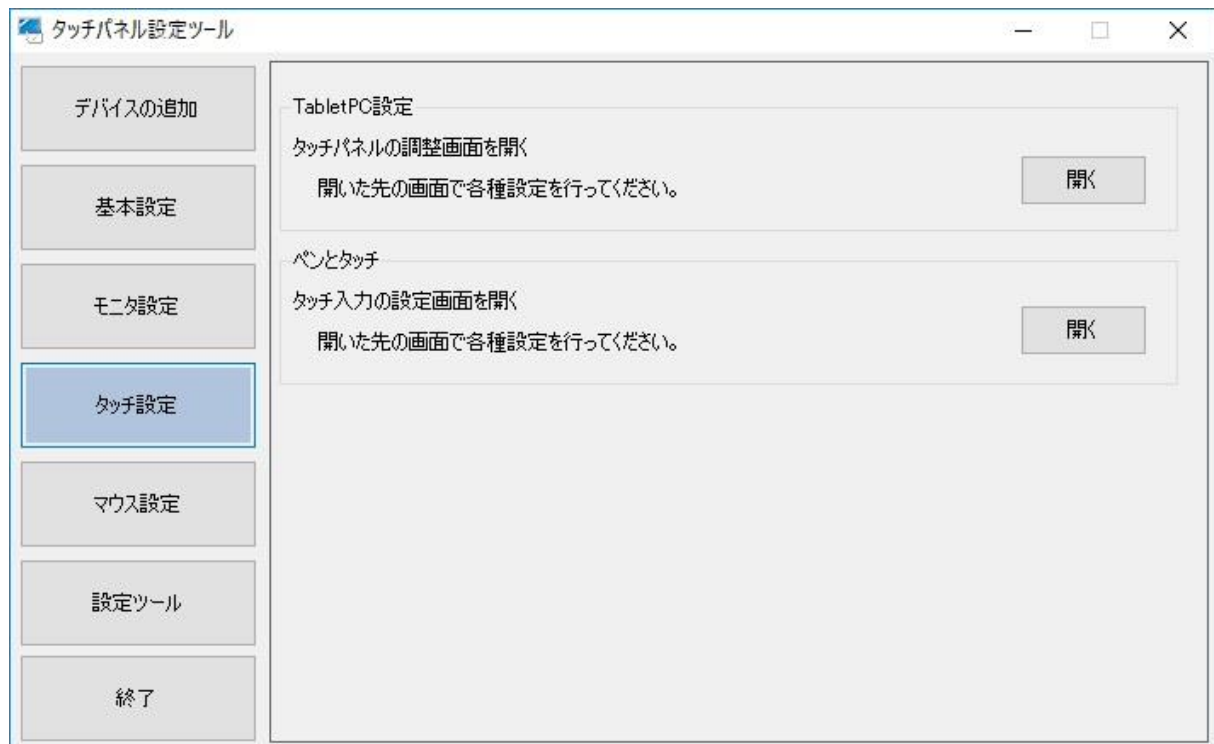
3. 画面上のタッチパネルを2回タッチします。
4. タッチされたタッチパネルが画面上に表示されます。



5. 現在のモニタの設定が完了した場合、「Enter」を入力します。
複数のモニタが存在する場合は次のモニタで手順 2 の画面が表示されます。
6. 最後のモニタで「Enter」を入力すると設定完了です。
途中でキャンセルする場合は「ESC」を入力します。

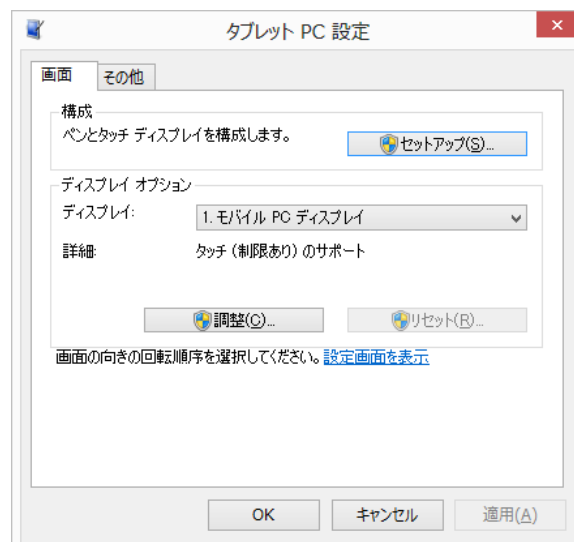
10.タッチ設定

Windows7 以降の OS 使用時のみ本画面は表示されます。



■TabletPC 設定

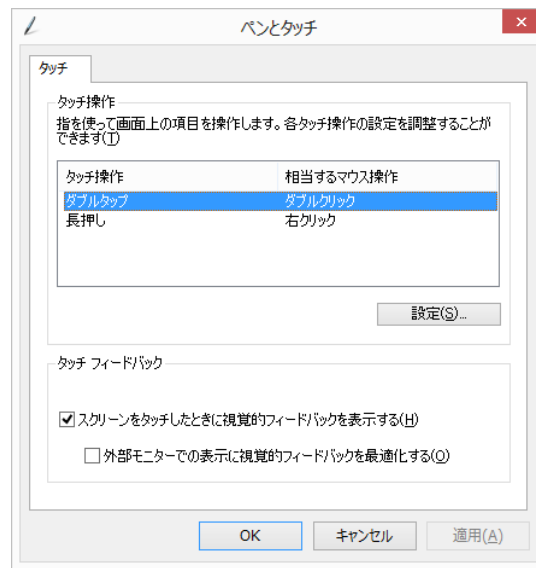
「開く」を選択すると Windows 標準の設定画面が表示されます。



タッチディスプレイの構成や、キャリブレーションを行う事が出来ます。

■ ペンとタッチ

「開く」を選択すると Windows 標準の設定画面が表示されます。

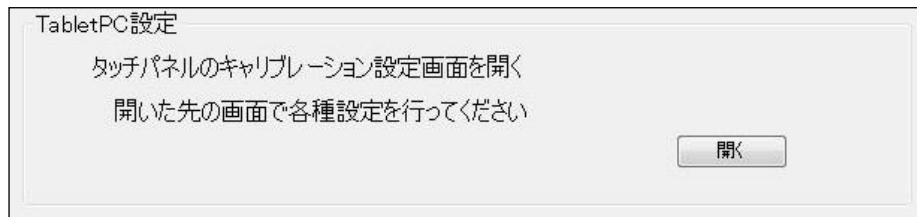


タッチ入力の調整や、フリック、ジェスチャの設定が出来ます。

10.1. タッチパネルの構成

Windows7 以降の OS でタッチパネルを使用する場合、以下の設定が必要となります。

1. TabletPC 設定画面を開く



2. 「構成」より「セットアップ」を選択します。



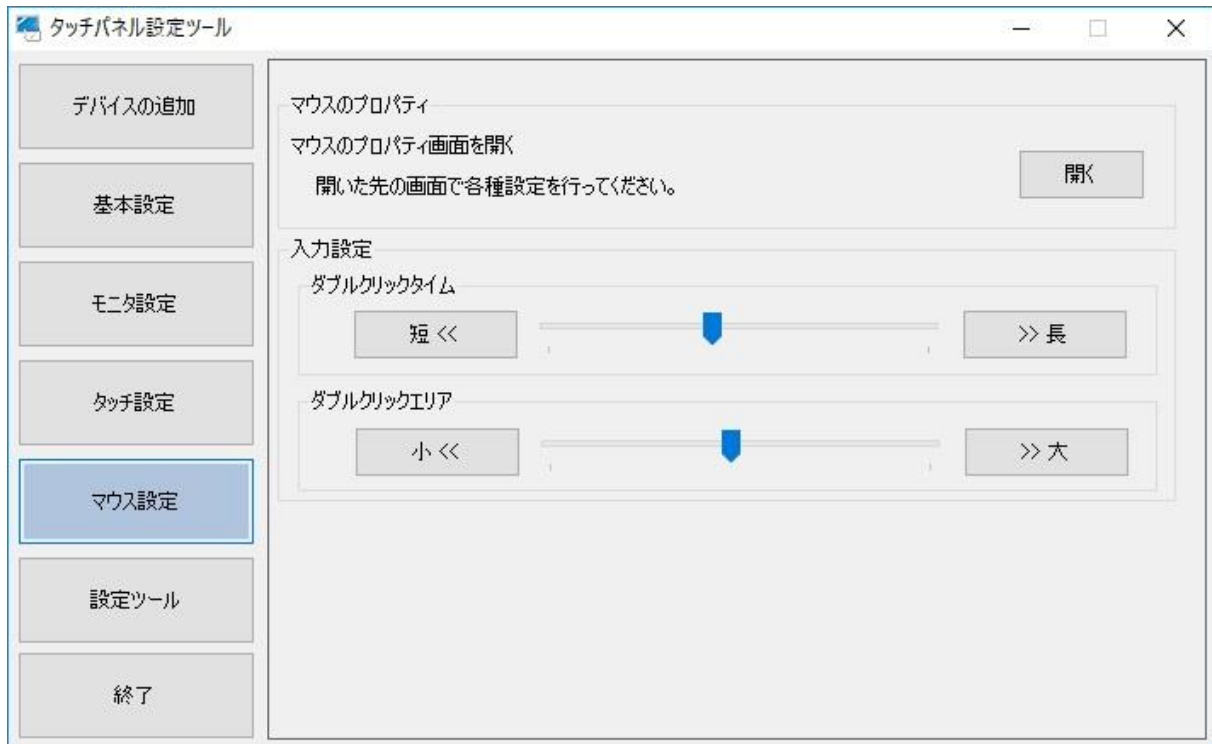
3. 画面にメッセージが表示されているタッチパネルをタッチします



4. ディスプレイの数だけ「3」を実行します。

上記設定完了後、モニタ上のタッチパネルをタッチするとそのモニタ上にカーソルが表示されるようになります。

11.マウス設定



■マウスのプロパティ

「開く」を選択すると Windows 標準のマウスのプロパティ画面が表示されます。



■入力設定

・ダブルクリック時間

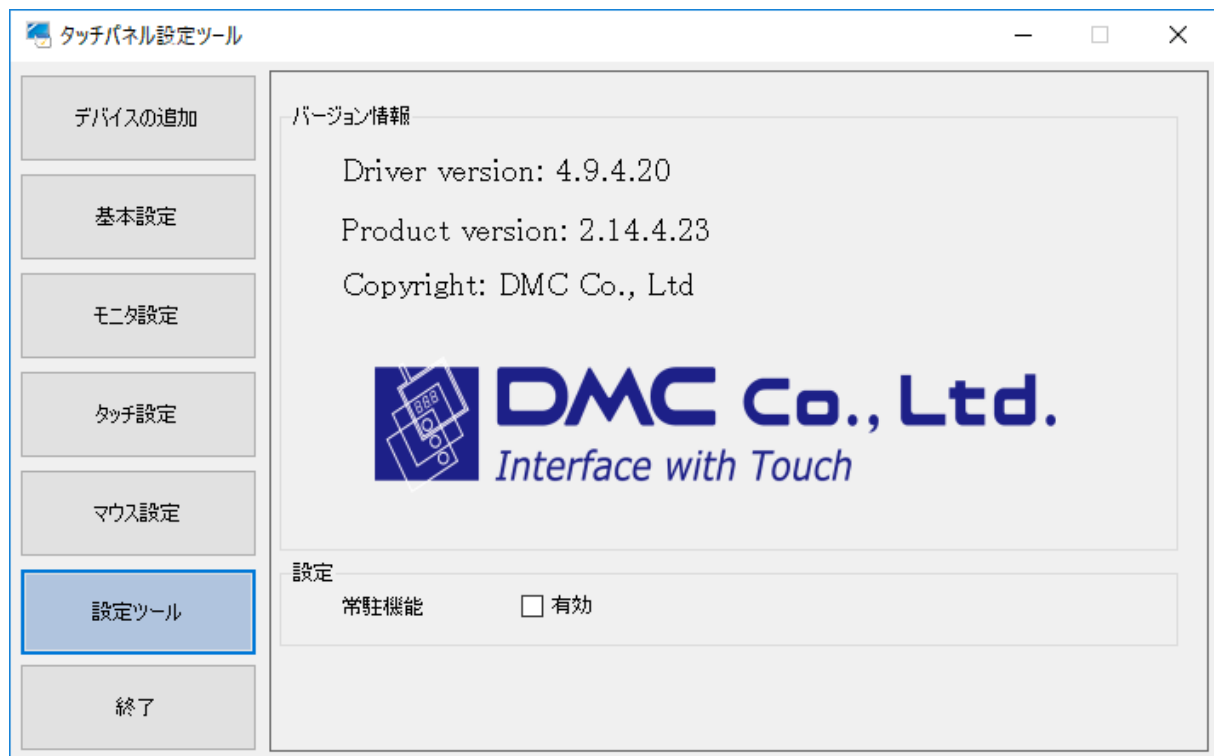
ダブルクリックとして認識される時間を設定できます。

・ダブルクリック範囲

ダブルクリックとして認識される範囲を設定できます。

12.設定ツール

■各種情報を表示します。



ドライバー及び、設定ツールのバージョン情報が確認できます。

■常駐設定

一部の機能では常駐機能の登録が必要となる場合があります。
その場合、本機能を用いて常駐機能の有効、無効を設定して下さい。

■常駐選択チェックボックス

「チェック有り」

常駐機能が有効となり、PC 起動時に常駐機能が自動的に実行されます。

「チェック無し」

常駐機能が無効となります。

※設定ツールの初期設定は常駐機能無効「チェック無し」となります
チェック無しの状態でも、通常のタッチ操作は行えます。

■常駐機能について

常駐機能が有効な時、各設定画面で設定した以下の機能が有効となります。

1. タッチ音再生機能

「タッチ入力設定」で「タッチ音」を「ソフトウェア再生」「ファイル再生」に設定した場合、設定された内容でタッチ音を再生します。

詳細は「8-2.タッチ入力設定」を参照ください。

2. 自動回転機能

本機能はマウス出力時のみ有効に機能します。(タッチ出力時は Windows の機能として回転された座標が出力されます。特殊な環境等で Windows による回転が行われない場合を除き、タッチ出力時は本機能を有効にしないでください。)

<注意>

ディスプレイの表示方法(拡張、複製)を変更した場合には、再度「モニタ設定」項目から「モニタ構成」を実行して頂く必要があります。(詳細は「9.モニタ設定」項目を参照ください。)

DMT-DD v2.14.4.23 取扱説明書

2021 年 5 月 12 日 発行

©2021 DMC Co., Ltd.

本書の再配布を認めますが、本書の改変を禁止します。

株式会社ディ・エム・シー

<http://www.dmccoltd.com/>

〒108-0074 東京都港区高輪 2-18-10 高輪泉岳寺駅前ビル 11F

Phone 03-6721-6731 Fax 03-6721-6732